

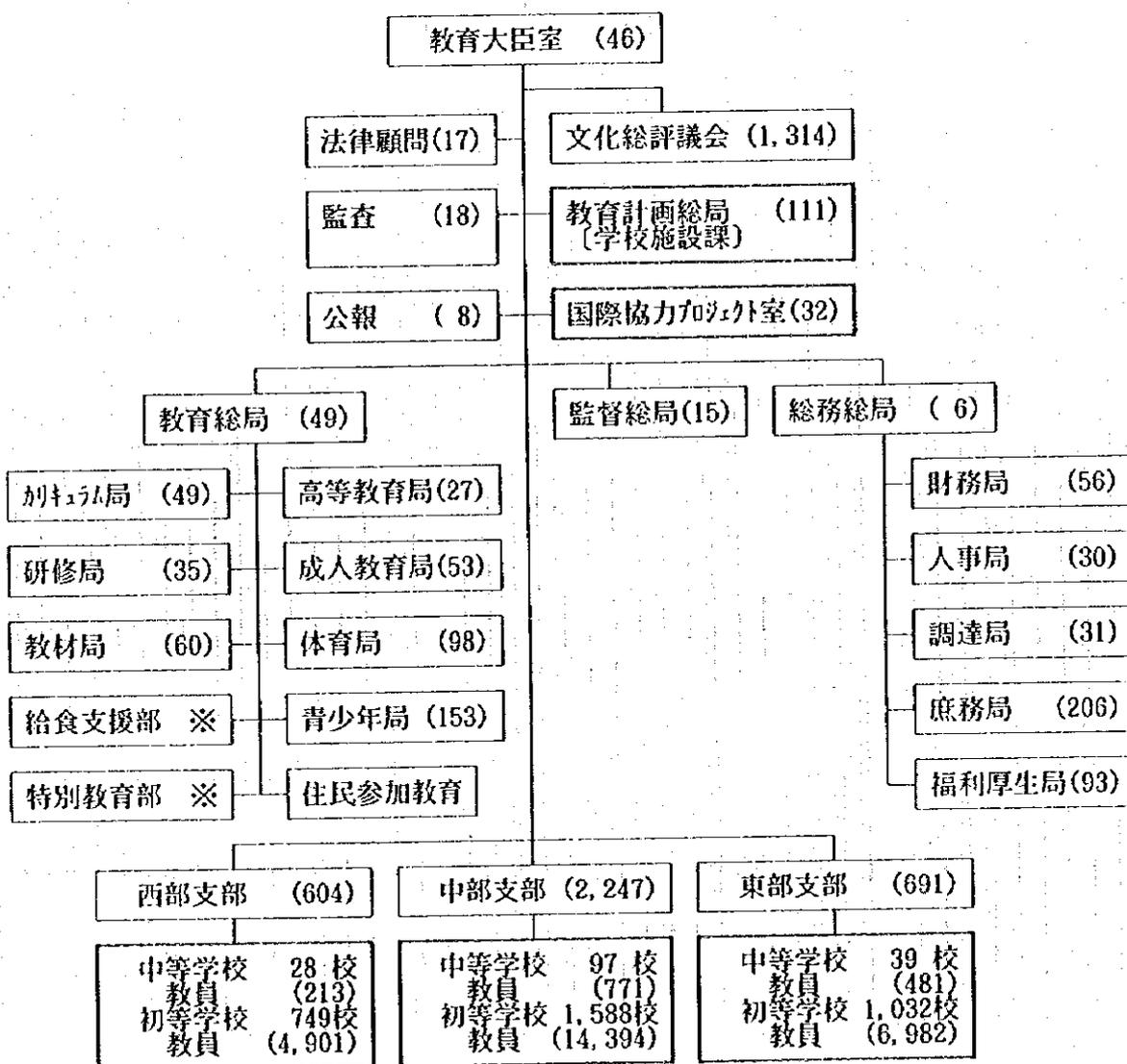
3.4 プロジェクトの実施体制

3.4.1 組織

(1) 教育省の組織

本計画の実施に当たっては、教育省内の国際協力プロジェクト室が対外責任窓口となり、教育計画総局の学校施設課が実施に協力する。計画教育計画総局の学校施設課は、地方支部の建設保全課の上位部局にあたり全国の公立学校の施設の維持管理を実施しており、本計画実施時の技術面の担当部局である。実施後は、教育省各地方支部の建設保全課が計画建物および機材の維持・管理を行い、教育省がその監督責任を有する。エ国教育省の組織を下図に示す。

現在、教育省の組織改革中であり、第1期時の教育省本庁の建設保全課は教育計画総局に統合され学校施設課に改名された。



注1：括弧内の数値は職員数を示す。注2：※印は非常勤である。

図 3-25 教育省の組織図

(2) 地方支部の組織
 教育省は全国の行政管轄を東部、中部、および西部地域3地域に分けている。学校施設の維持管理は、各地域の建設保全課により行われている。本計画の施設は、各地方支部の指導の下、各学校またはACEが施設・機材の運用・管理を行う。以下に東部支部の組織図を示す。

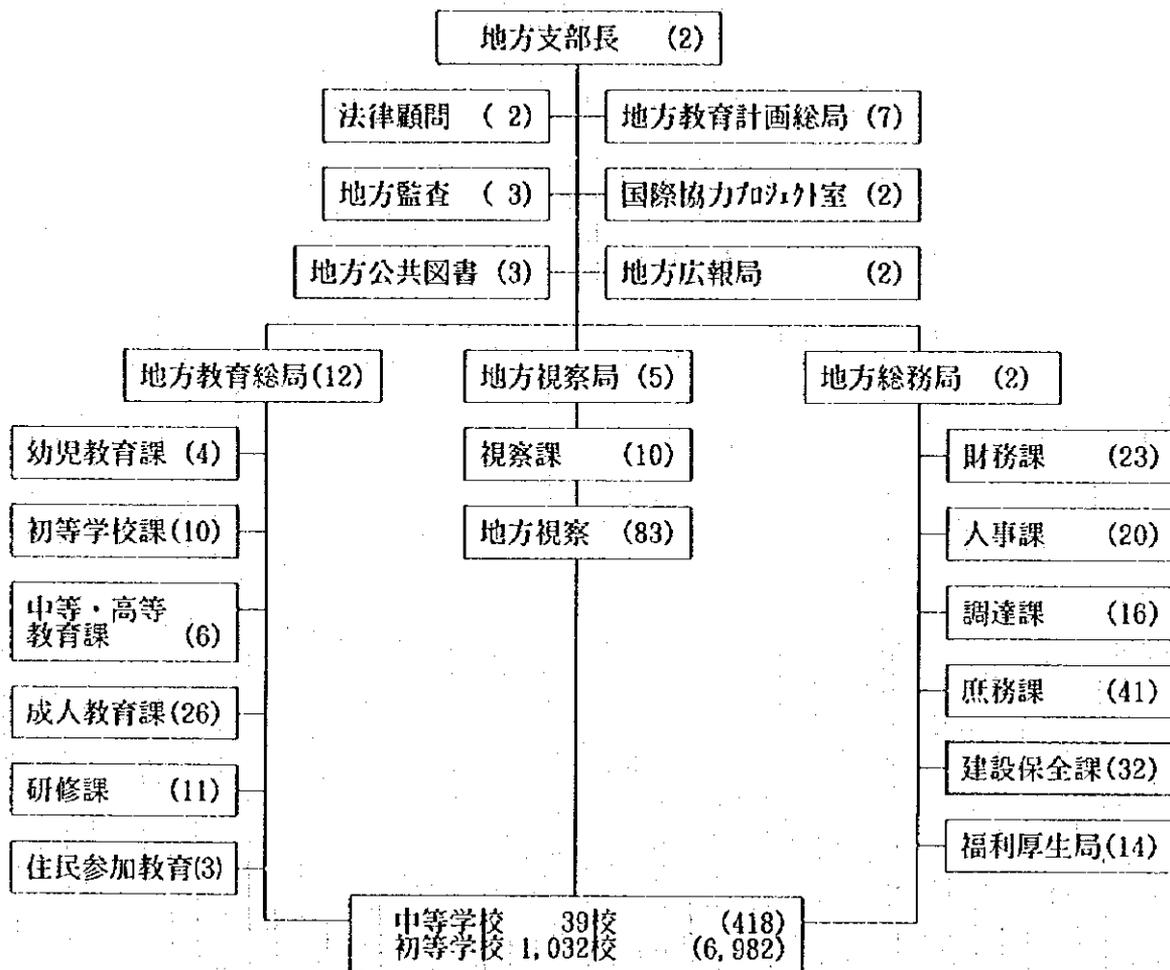


図 3-26 教育省東部支部の組織図

現在、教育省は教育改革にあげられている地方分権を図るため組織改革の実施中であり、地方支部は各県単位の支部に変わる計画をもっており、将来的には施設の維持管理は県支部に移管される予定である。

3.4.2 予算

教育省の予算は、通常予算と特別予算（通常予算で賄われない教育・文化の開発優先分野の補強に向けられ、同省の国際協力プロジェクト室を通じて受け入れた海外援助資金が使用される）からなる。通常予算は、1992年から1993年が19%、1993年から1994年が27%、1994年から1995年では25%増加しており、1995年の予算は1,755百万コロンに達している。一方、特別予算は年々減少傾向にあるが、教材・カリキュラム開発等のソフト面のコストはこの中から賄われており、当分の間外国援助が必要とされる状況にある。教育普及は国家計画の中においても優先的課題として取り上げられ、1993年～1995年の通常予算の伸び率が25%～27%増を維持していること、また、教育省の予算の伸び率は国家予算の伸び率を上回っており公共事業、保健等の他分野と比較しても教育分野の優先政策の反映が明確に伺える。国家予算および教育省予算の推移を以下に示す。

表 3-14 国家予算および教育省予算の推移 単位：百万コロン

	1990年	1991年	1992年	1993年	1994年	1995年
[教育省予算]						
通常予算	708.0	756.0	928.0	1,106.0	1,405.6	1,755.9
(伸び率 %)		(7)	(23)	(19)	(27)	(25)
特別予算	72.0	211.0	264.0	165.0	73.3	77.8
(伸び率 %)		(293)	(25)	(-38)	(-56)	(6)
総計	780.0	967.0	1,192.0	1,271.0	1,478.9	1,833.7
(伸び率 %)		(24)	(23)	(7)	(16)	(24)
[国家予算]	4,256.0	4,986.0	6,758.0	7,636.0	9,582.6	11,752.6
(伸び率 %)		(17)	(36)	(13)	(25)	(23)

出典：MEMORIA DE LABORES 1994-1995, MINED

1994年の教育省の通常予算の地域文化活動費は通常予算の約57%を占めており、その多くは学校教員の給与である。また、同予算の中の施設維持管理費は、管理・運営費、教育事業と文化事業の為の建設・拡張・再建・設備費が計上されている。この維持管理費は通常予算の約2%を占めており、その多くは各地方支部の建設保全課の巡回補修班の人件費と補修用資材購入（ペンキ、スレート等）である。

教育省の通常予算の伸びが順調に上昇していること、通常予算の伸び率が国家予算の伸び率を上回っており、今後の予算増も期待できることから計画の運営実施は可能であると判断する。

但し、施設の教員の給与、維持管理費は今後も増加が見込まれるため予算獲得が課題になる。

表 3-15 教育省1994年度支出内訳

単位：コロン

支出項目	金額
教育活動費	35,766,930
教育指導費	940,700
行政費	53,569,910
地域文化教育活動費（地方支部）	1,088,102,870
文化教養活動費	53,838,880
自治機関及びその他団体への予算	146,034,160
管理・運営費	11,778,270
教育事業の為の建設・拡張・再建・設備費（地方支部）	8,000,000
文化事業の為の建設・拡張・再建・設備費	7,557,000
（施設維持管理費 計）	(27,935,270)
合 計	1,405,588,720

3.4.3 要員・技術レベル

(1) 実施機関の要員

本計画の実施機関は教育省内の教育計画総局の学校施設課である。学校施設課長が本計画の実務担当となっており、教育計画総局から老練の技術員が補佐をしている。現在の教育計画総局は学校施設課を含めて111名の職員がいる。学校施設課は主に施設の維持管理を実施している。また、小規模であるが学校の増築、改修等の工事実施を行っている。施設建設、造成等の相手国負担工事等の計画・設計の技術面の問題に対しては学校施設課の老練の技術陣が担当している。調査期間中には各担当が協議内容に応じて協議に参加している。本計画の対外責任窓口の国際プロジェクト室からは課長および事務担当の法律家、技術員等が事務担当となっている。

現地調査時のサイト調査においては、本省の学校施設課下の地方支部の建設保全課の課長のもとに技術者および技術員が調査に協力した。各地方支部の建設保全課は、本省の学校施設課の管轄下で各管轄地域の施設・機材の維持管理実務を主に担当している。現在、東部支部の建設保全課には32名の職員がおり、主に施設の維持管理のプログラムである予防保全、事後保全を実施している。また、学校教員、地域コミュニティの住民に対して地方支部の修理工場にて家具修理、補修工事の研修等を実施している。

本計画の実施時は、事務手続き（銀行取決め、契約等）については、国際協力プロジェクト室および教育計画総局の担当法律家、技術員が担当する。また、施設・機材の詳細設計・施工監理時の技術面の問題に対しては、教育省の本省の学校施設課および地方支部の施設保全課の建築家、技術者が担当となる予定である。

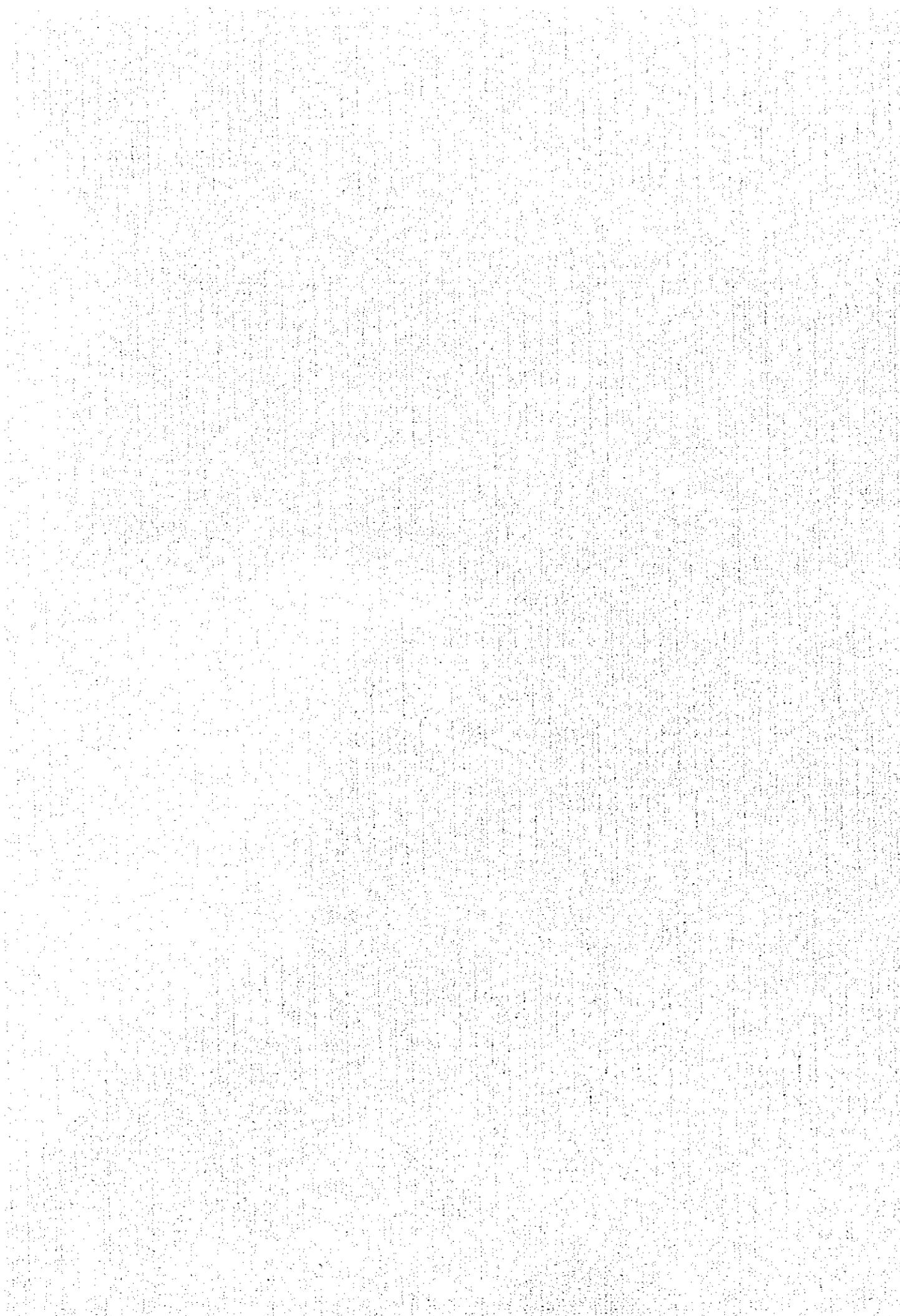
教育省本省及び地方支部における教育計画総局、学校施設課、建設保全課では資格を持つ法律家、建築家および技術者が本計画の実務担当をしており、本省と地方支部の間の連絡が円滑にとれる連絡網も完備されている。本計画の実施機関としての要員と計画実施の技術レベルは確保されており、計画実施は可能であると判断できる。

(2) 教員

1995年の現職教員数に対する1997年の必要教員数から計画実施後新たに必要となる教員数は、協力対象サイトの内初等学校33校において最低30人、中等学校2校において1人となる。公立の初等・中等学校の教員は教育省の教育総局により直接雇用されているが、本計画の初等学校の様子EDUCOプログラムが適用されている学校では、ACEによる教員の直接雇用および直接運営の形態が実施されている。これは中央政府の間接部門の人員費削減に大きく貢献している。本計画により発生する新規教員の雇用に際しての人員費の増加分は、教育省の予算で賄われるが、直接雇用および、直接運営による経費節減が図られ、またエ国経済の上昇による歳入の好転等から、新規教員の確保は可能であると判断される。

教育省は教員養成に対しても1995年からは再開しており、教員の再教育も実施していることから教員のレベル向上は見込まれると考えられる。

第4章 事業計画



4. 事業計画

4.1 施工計画

4.1.1 施工方針

本計画は日本国政府の無償資金協力によって実施されることを考慮して、施工実施に当たっては以下の方針で臨むこととする。

- ①教育省本省、東部支部、中部支部、コンサルタントおよび建設業者間で定期的な報告、意見交換を行い、良好な対話関係を維持し、円滑な工事の実施を図る。
- ②建設サイトは、東部地域と中部地域のアクセスの悪い僻地に多くのサイトが分散している。従って、サイトを山岳部、海岸部、幹線道路網、アクセス道路から地域的なグループ分けを行う。各グループの工程管理を強化するために、東部地域の中心都市サン・ミゲルに施工本部事務所を、さらに中部地域の首都サン・サルヴァドルに施工連絡事務所を設け、両事務所に各々日本人施工技術者と現地人施工技術者を配置する施工管理体制とする。
- ③建設サイトを雨期でも工事ができるサイトと雨期はアクセスが悪く乾期に工事を実施すべきサイトに区分し、施工工程を大きく2つに分ける。すなわち、雨期でも工事可能なサイトのグループと、乾期に工事すべきサイトのグループに仕分けし、前者は乾期の11月～4月に、後者は雨期5月～10月に主要工事が実施される工程とする。さらに、きめ細かい指導の下で工事を実施するために、乾期、雨期の両グループにおける資材搬入や重要工事が合理的に実施される工程計画とする。
- ④各サイトグループ内の技術会議の他に、両グループ合同の進捗会議を教育省の担当者を含めて定期的に行い、日本側とエル・サルヴァドル側の負担範囲が円滑に実施されるようにする。

4.1.2 施工上の留意事項

同国では1989年6月より自由経済市場を導入しており、1992年の内戦終了以降都市周辺部の住宅、都市部の事務所や大型ショッピングセンターの建設が盛んである。内戦復興の様々な公共工事も発生し、建設分野は他の産業分野に比べて高い成長率が示されている。

同国の大手施工会社の多くは、経済の中心である首都サン・サルヴァドル市に集中している。内戦の被害が大きかった東部地域の中心的な地方都市サン・ミゲルは、戦災復興と共に、商業施設、住宅等の開発が進んでいる。サン・ミゲルにも大手施工会社はあるがサン・サルヴァドルに本店を持つ企業の出張所、支店である。地方の工事の多くはサン・サルヴァドルの業者が施工している。地方の施工会社の多くは数人の従業員からなる会社が多く、大規模工事は共同で請け負うケースが多い。教育省は、工事の発注金額を3段階に分け、この規模に応じて指定建設業者をランク分けしている。教育省の実施している全国の学校建設（更新、補修）は、これらの業者によって施工されている。

教育施設の建設許認可は教育省が行っており、他の省庁への許認可の必要はない。但し、下水のない地域の便所仕様は、厚生省との協議・確認が必要であるため、本計画においても工事着手前に関連部局に対して十分な説明を行う。

施工上留意すべき点は、アクセスの悪い僻地のサイトが多いため、工事用水、電気の確保、さらに労働者の生活物資の調達容易ではないことである。工事用水は給水車にて各サイトに設置する仮設貯水槽へ給水し、また仮設電気は小型発電機にて確保する。労働者のための宿舎を確保して、生活物資も定期的に配送する必要がある。現地においても僻地での労働は好まれていない傾向があり、長期間の僻地労働は施工の遅れなどの一因ともなるため、労働環境への対策が重要である。そのため、単純労働者の一部を地元にて雇用することも配慮する。

工法上、大型建設機械の導入の必要はないが、最低限の小型建設機械の使用は不可欠であるため、サイト間での機械の巡回使用も配慮して施工計画を検討する。

4.1.3 施工区分

本計画の事業負担事項を、日本国側負担とエル・サルヴァドル国側負担に分けて次表に示す。

表 4-1 本計画事業の負担区分

工事等の負担事項	日本	エ国
1 土地取得		○
2 造成工事、法面保護		○
3 建設工事に必要なアクセス道路の整備		○
4 既存校舎・住居等の建物等の解体・撤去、樹木伐採		○
5 敷地内の造園、門扉、塀の建設		○
6 電気、上下水道の引き込み工事		○
7 建設工事 初等学校：教室棟、便所、管理棟 中等学校：セソリ校（教室棟、管理棟、便所、多目的ホール） カト・エル・ムリョフ校（教室棟、管理・実習棟、 自動車修理実習棟、便所、多目的ホール）	○ ○ ○	
8 機材調達・据え付け（学校用家具、実習用機材、実験用機材）	○	
9 輸入通関手続き (1) エ国までの輸送および国内輸送 (2) 免税および通関手続き	○	○
10 日本の外為銀行に対する銀行取極め（B/A）手数料		○
11 本計画業務による日本人のエ国出入国および滞在の手続きの便宜		○
12 無償資金協力による施設・機材の適切かつ効果的運用管理		○
13 無償資金協力に含まれない施設の建設、家具および機材の運搬・据え付けにかかる全ての経費の負担		○
14 建設工事にかかる許認可・申請手続きの一切		○
15 本計画の建設工事者がエ国で調達する資材・機器並びにサービスに対する支払いに関して、付加価値税を含む全ての国内税の免税措置		○

本計画の施設建設前に実施すべき上記2～6までのエ国側負担工事の内訳を資料9を巻末に添付する。

4.1.4 施工監理計画

施工監理者は設計にもとづいた施工精度の確保、工事中の技術的問題の解決、日本側・エル・サルヴァドル側工事の進捗管理を円滑に行うため、定期的なサイト検査と定期的な進捗報告会議を開催する。

施工監理上の留意点は、以下の通りである。

- ①エル・サルヴァドル国政府負担となる造成工事、法面処理、既存建物等の撤去および各種インフラ引き込みは、日本側工事との取り合い関係があるため、工事のタイミングが重要であり、事前に各工事の工程・仕様についての打合せを行う。
- ②工事に先立ち、建設業者から提出される実施計画書、工程表、施工図を十分検討し、仮設計画、工程計画、予定材料の品質、および工法の妥当性を審査する。
- ③工事完了・引き渡しに当たり、出来上がり工事内容・納入機材が設計仕様書を満たしているかの検査を行い、修正箇所がある場合には適切な指示を出す。
- ④サイトが多いため日本人建築技術者を常駐監理者およびスポット監理者として派遣し、現場の施工監理に当たる。

4.1.5 資機材調達計画

同国では、建設主幹資材であるセメントの製造会社は1社である。小口取引はなく、大手の資材業者や建設業者による大量取引が行われているため、価格変動が起きやすい状況にある。他の建設資材に関してもメーカーの寡占状態や近年の建設工事の伸びによる需要への対応ができないために、価格が上昇したり、不足分を近隣国の輸入品に依存せざるを得ない状況にあった。しかし、現在は価格が安定しており、国内の資材需給はほぼ満たされている。建設資材・設備資材・備品は、入手が容易で、修理・保守管理が容易な同国の現地生産品の使用を基本とするが、錠前・鉄パイプ・電線等の一部は現地でも普及している輸入在庫品を調達することとする。現地の建設資材の調達状況より、サイトは東部地域とその周辺であることから調達地は、サン・ミゲルを考える。ただし、鉄骨は品質上の問題からサン・サルヴァドル調達とする。

本計画のサイトの中には、道路事情が悪いため雨期には運搬車が入れず、資材搬入が出来ないサイトがある（東部地域：14サイト：中部地域：なし）。これらのサイトは、乾期に資材を運搬し、施工を実施する必要がある。

本計画を実施する上で、必要な資機材の調達および輸送方法は以下の通りである。

表 4-2 資機材調達品リスト

資 機 材	日本	エ国	輸送方法
1. 建築資材	×	○	現地の陸上輸送
2. 設備資材	×	○	現地の陸上輸送
3. 学校用機材、備品	×	○	現地の陸上輸送

に実施することが必要となる。

(1) 土地取得

協力対象サイトの内、2ヶ所〔サイト番号7, 30〕の教育省への譲渡手続きが完了していない。1996年3月末までには譲渡手続きを完了する必要がある。

協力サイトのサイト番号15は現地調査時に間違えたサイト境界が指示されており、帰国後、現地からの情報でサイトは狭小であることが判明した。現地調査の結果では、4-4-8タイプを計画していたが、基本設計概要説明前に現地情報をもとに3教室タイプの校舎計画とした。しかしながら、現況は14学級の381名の生徒がいるため教室が不足することが明らかであるため、基本設計概要説明時に調査団が教育省に対して土地の拡張と不足分の教室は独自に建設することを進言して合意を得た。

(2) 造成工事、法面保護

協力対象サイトの内、下記の16ヶ所の敷地の造成工事及び法面処理を施設の建設工事前までに実施する必要がある。工事実施に当たっては教育省の技術部門の技師が詳細設計および施工監理を行う必要がある。

〔サイト番号1, 4, 7, 8, 10, 13, 16, 17, 18, 19, 20, 23, 28, 29, 31, 34〕

(3) 建設工事に必要なアクセス道路の整備

協力対象サイトの内、2ヶ所〔サイト番号7, (6)〕へのアクセス道路に落石等があり施設建設前までに道路の軽微な整備を実施する必要がある。

(4) 既存校舎・住居等の建物等の解体・撤去、樹木伐採

協力対象サイトの内、下記の12ヶ所の既存校舎・住居等の建物等の解体・撤去、樹木伐採を施設建設前までに実施する必要がある。

〔サイト番号4, 8, 10, 15, 17, 18, 20, 23, 26, 27, 33, 34〕

(5) 敷地内の門扉、塀の建設及び造園

協力対象サイトの門扉、塀、造園が施設の建設完了までに必要となる。

(6) 電気、上下水道の引き込み工事

協力対象サイトの内、下記の18ヶ所の電気設備の引込み工事を施設建設前までに実施する必要がある。

〔サイト番号3, 6, 8, 10, 11, 12, 15, 20, 21, 24, 25, 28, 29, 30, 31, 34, 35, 36〕

協力対象サイトの内、下記の9ヶ所の水道設備の引込み工事を施設建設前までに実施する必要がある。サイト番号11のサイトは下水道の整備も含む。

〔サイト番号1, 11, 16, 20, 26, 33, 34, (2), (5)〕

(7) 建設工事にかかる許認可・申請手続きの一切

建設に係る全ての工事許可、申請手続きは施設建設の前までに実施する必要がある。

(8) 付加価値税等の免税措置

本計画の建設工事者が工場で調達する資材・機器並びにサービスに対する支払いに関して、付加価値税、国内税等の免税措置を工事期間中に実施する必要がある。

(9) 日本の外為銀行に対する銀行取極め

本計画の実施段階で、迅速な銀行取決めの実施と手数料の支払いおよび、支払い授權書の発行をする必要がある。

4.2 概算事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合に要する事業費総額は、約8.47億円と見込まれる。以下、日本側とエル・サルヴァドル側の内訳を示す。

4.2.1 概算事業費

(1) 日本国側負担事業費

本計画の実施に要する日本側事業費は約8.82億円と見込まれる。内訳は以下の通り。

表 4-4 日本側負担事業費

事業費区分	平成8年度	平成9年度	合計
① 建設費	4.14 億円	3.29 億円	7.43 億円
a. 直接工事費	(2.94 億円)	(2.20 億円)	(5.14 億円)
b. 現場経費	(0.36 億円)	(0.43 億円)	(0.79 億円)
c. 共通仮設費等	(0.84 億円)	(0.66 億円)	(1.50 億円)
② 機材費	— 億円	0.51 億円	0.51 億円
③ 設計・監理費	0.59 億円	0.29 億円	0.88 億円
合計	4.73 億円	4.09 億円	8.82 億円

(2) エル・サルヴァドル国側負担事業費

本計画を日本の無償資金協力により実施する場合のエル・サルヴァドル国側の負担事業費は、1,796 千コロン（約18.9百万円）と見込まれ、その内訳は以下の通りである。

1) 敷地造成・法面処理	566 千コロン	(約 5.9百万円)
3) 既存建物等の撤去・樹木伐採	167 千コロン	(約 1.8百万円)
5) インフラ整備工事 (道路、電気、水)	295 千コロン	(約 3.1百万円)
6) 外構 (門扉) 工事	768 千コロン	(約 8.1百万円)
合計	1,796 千コロン	(約18.9百万円)

敷地造成・法面処理および既存建物等の撤去は日本側工事の着工以前に、また、インフラ引き込み工事は日本側工事の電気・給排水工事が開始する以前に実施する必要がある。更に塀、門扉、植栽等の造園工事は日本側工事の期間中に実施する必要がある。

エル・サルヴァドル国側負担工事の内訳は、資料 5.5を参照のこと。

(3) 積算条件

積算条件は以下の通りである。

- ① 積算時点 平成7年11月
- ② 為替交換レート 1ドル = 92.00 円 1ドル = 8.75 コロン
1コロン = 10.514 円
- ③ 施工期間 実施に要する詳細設計、建設工事・機材調達の間は事業実施工程表に示した通りである。
- ④ その他 本計画は、日本国政府の無償資金協力の制度に従い実施されるものとする。

4.2.2 維持・管理計画

(1) 施設の維持・管理体制

本計画の施設の維持・管理は教育省地方支部の建設保全課が行う。そして、建設保全課の指導の下、各学校、ACEが施設・機材の運用・管理を行う。本計画の対象地域である東部支部の建設保全課の職員は現在 32 名（技術者・技術員 8 名、工事班 24 名）がおり、主に施設・機材の維持管理を担当している。また、学校、コミュニティ住民に対して地方支部の修理工場にて家具修理、補修工事の研修を実施している。中部支部も同様の組織体制となっている。以下に建設保全課の組織図を示す。

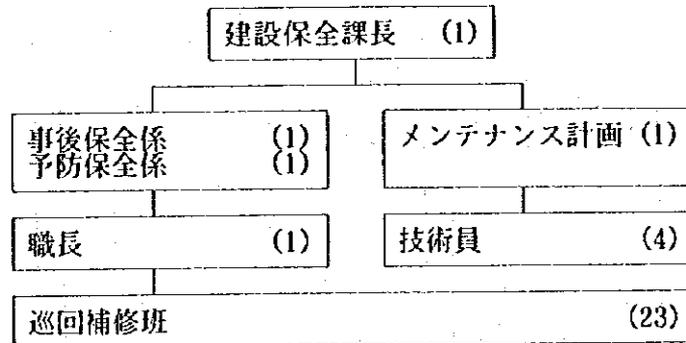


図 4-1 東部支部建設保全課の組織図

エ国の学校施設の補修・維持管理のため、予防保全と事後保全の 2 つのプログラムが各支部の建設保全課により実行されている。また、学校の運営・維持管理のための補助金を配付する学校教育基金計画が開始されている。以下に概要を示す。

1) 予防保全

教育省は 1992 年から B I R F の社会セクター再建計画の資金を活用して、予防保全の活動を開始している。このプログラムは、学校の維持管理を行う父兄・教員に施設の予防保全の研修を地方支部で行い、学校の要請にもとづいて軽度の補修に対する補修材料（例：セメント、ペンキ、水栓、電気コンセント、ドア部品）や補修道具の購入に対する予算を与えるものである。補修内容については学校自らが決定し、視察官に内容報告する方法で補修工事が実施されている。

予防保全費用として、年平均 1 学校当たり 7,500 コロンの予算が生まれ、1993 年には 87 校、1994 年には 83 校が対象とされ、さらに 1995 年からは当プログラムを適用拡大し、180 校が決定されている。なお、本計画で整備される教育施設についても、本プログラムを適用することが決定している。

2) 事後保全

予防保全に比べると規模の大きな補修・修理内容となる壁や床のクラック修理等には、事後保全プログラムを適用する。同プログラムの予算は、地方支部が管理している。学校の要請に基づき補修用資材の 50% を教育省が、残りの 50% をコミュニティが負担し、

支部の巡回補修要員が補修・修理を行う。作業の大きさによっては、民間業者へ仕事を外注し、双方で費用を負担する。

近年の地方支部にて実施している事後保全は予算の減少もあり、減少傾向にある。

事後保全の学校施設維持管理マニュアルは、1988年にUSAIDによって作成されたが、BIRFの社会セクター再建計画の資金によって、同マニュアルの見直しが行なわれ1995年に各地方支部への配付が始まっている。

3) 学校教育基金計画

1994年より教育省は教育の質向上、学校運営能力の強化、教育方法の統一を目的とし、8校の初等学校に学校管理委員会を組織化させ施設の予防保全、教材配付等に対して資金を援助するパイロット計画を実施している。1995年には38校に拡大して今後も継続する予定となっている。

以上の維持管理プログラムを実施してきた実績より、建設保全課の要員と技術レベルは、本計画実施の維持管理においても十分機能すると判断できる。

(2) 学校運営の要員

教育施設の運営・維持管理は、各学校の教員並びに父兄が大きな役割を担っている。EDUCOの実施によって、学校運営・維持管理への民間参加が定着してきており、子弟の教育機会の確保を円滑に行う上での父兄の協力の必要性が極めて大きい。

従って、前述の地域コミュニティの協力により実施される予防保全、事後保全等のプログラムが確実に適用されるならば、教員並びに父兄が施設・機材をより適切に運営・維持管理することに結びつくものと判断される。

(3) 維持管理費

本計画で整備される施設・機材の運営維持管理費用は、以下のようにまとめられる。

1) 電気代

1サイトの電気代は月当たり100KWHまでの電気消費量なら、最低料金の70.85 コロンである。100KWH以上の電気料金は、0.007085 コロン /KWH である。対象サイトの中で月当たり電気消費量が最大となるプエルト・エル・トゥリョンフォ校の月電気需要量は、以下のように算定される。

① 電気需要量

照明の設備容量 (4.51 kw) × 需要率 (0.9) = 4.06 kw

コンセントの設備容量 (6.91 kw) × 需要率 (0.2) = 1.38 kw

実習用機器の設備容量 (29.10 kw) × 需要率 (0.7) = 20.37 kw

需要電力量 = 4.06 kw + 1.38 kw + 20.37 kw = 25.81 kw

② 電気消費量

照明、コンセント及び実習用機器の月当たり電気消費量

$$= \text{需要量 (25.81kw)} \times 2\text{時間/日} \times 20\text{日} = \text{消費量 (1,032.4 kwh)}$$

但し、月当たりの消費時間は、1日平均2時間の20日稼働と想定する。

他の初等学校16校と中等学校1校は照明の電気消費量が殆どであることから、電気消費量が最大のサイトにおいても100KWH以下と想定されるため、電気設備を整備するその17サイトの電気代は最低料金を見込む。従って、電気代は70.85 コロン/月となる。

初等学校の電気代 (16サイト)

$$= 70.85 \text{ コロン/月} \times 10\text{カ月} \times 16\text{サイト} = 11,336 \text{ コロン}$$

中等学校の電気代 (2 サイト)

$$= (70.85 \times 1 + 731.45 \times 1 \text{ コロン/月}) \times 10\text{カ月} = 8,023 \text{ コロン}$$

従って、16カ所の初等学校と2カ所の中等学校を合わせた年間電気代は、19,359 コロンと見込まれる。

2) 水道代

1サイトの水道代は月250 m^3 までの使用量の場合、1.7 コロン/ m^3 であり、月使用量が250 m^3 を越える場合は2.55コロン/ m^3 となる。また、本計画で水道引き込みの対象となるサイトは9か所であり、その内1か所は水洗便所が整備される。

水道水利用を手洗い用(9サイト)および水洗便所用水(1サイト)に限定した場合の使用量算定は、以下のとおりである。

① 手洗い用水 (初等学校)

1人1日1 ℓ 消費するものとして、計画生徒数および教員数に対する使用水量は以下のとおりである。

3-3-6タイプ: (3校)

$$\text{使用者数} = \text{生徒数}720 \text{ 人} + \text{教員数}18 \text{ 人} + \text{幼稚園児童数} \cdot \text{教員数}123 \text{ 人} = 861 \text{ 人}$$

$$\text{使用水量} = 861 \text{ 人} \times 1 \ell / \text{人日} \times 20\text{日/月} \times 10\text{月} = 172,200 \ell = 172.2 \text{ m}^3$$

4-4-8タイプ: (3校)

$$\text{使用者数} = \text{生徒数}960 \text{ 人} + \text{教員数}24 \text{ 人} + \text{幼稚園児童数} \cdot \text{教員数}123 \text{ 人} = 1,107 \text{ 人}$$

$$\text{使用水量} = 1,107 \text{ 人} \times 1 \ell / \text{人日} \times 20\text{日/月} \times 10\text{月} = 221,400 \ell = 221.4 \text{ m}^3$$

3教室タイプ: (2校)

$$\text{使用者数} = \text{生徒数}480 \text{ 人} + \text{教員数}12 \text{ 人} = 492 \text{ 人}$$

$$\text{使用水量} = 492 \text{ 人} \times 1 \ell / \text{人日} \times 20\text{日/月} \times 10\text{月} = 98,400 \ell = 98.4 \text{ m}^3$$

初等学校の使用水量の合計 492.0 m^3

② 手洗い用水 (中等学校)

1校・1校・1校・1校 中等学校: (1校)

$$\text{使用者数} = \text{生徒数}480 \text{ 人} + \text{教員数}14 = 494 \text{ 人}$$

使用水量 = 494 人 × 1 ℓ / 人日 × 20日 / 月 × 10月 = 98,800 ℓ = 98.8 m³

③ 水洗便所用水 (中等学校)

□アイト・エルトリヤンナ 中等学校 : (1校)

使用水量 = 13 ℓ / 回・便器 × 494 人 × 0.15 使用率 × 20日 / 月 × 10月
= 385,320 ℓ = 385.3 m³

中等学校の使用水量の合計 (②+③) 484.1 m³

従って、年間水道代として初等学校は 836 コロン、中等学校は 1,021 コロンとなり、合計 1,857 コロンが見込まれる。

3) 建物ペンキ塗り替え費

5年に1回は建物維持および補修のため、建物壁面のペンキ塗り替えをする。労働力は地域住民から提供されるものとし、1回のペンキ代として初等学校は約279,719 コロン、中等学校は約20,961コロンが見込まれる。

4) 設備消耗品費

照明電球の交換は3年に1回の割合で交換すると、1回の電球取り替え費用は初等学校は 6,720 コロン、中等学校は 11,480 コロンが見込まれる。

5) 年間維持管理費の総計

本計画で整備される施設の年間維持管理費は、約 342 千コロンが見込まれる。

表 4-5 推定年間維持管理費 単位; コロン

費目	初等学校	中等学校	総計
1)電気代	11,336	8,023	19,359
2)上水道代	836	1,021	1,857
3)建物ペンキ塗り替え費	279,719	20,961	300,680
4)設備消耗品費	8,720	11,480	20,200
合計	300,611 (3.0百万円)	41,485 (0.4百万円)	342,096 (3.4百万円)

なお、本計画実施後の10年間に発生する維持管理費は、次表に示す時期に発生するものと想定される。

表 4-6 維持管理費の発生時期 単位; 千コロン

費目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
1)電気代	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4	19.4
2)上水道代	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9
3)建物塗り替え費	0.0	0.0	0.0	0.0	300.7	0.0	0.0	0.0	0.0	300.7
4)設備消耗品費	0.0	0.0	20.2	0.0	0.0	20.2	0.0	0.0	20.2	0.0
合計	21.3	21.3	41.5	21.3	322.0	41.5	21.3	21.3	41.5	322.0

注：価格は、1995年価格とする。

さらに予想される人件費は以下の通りである。

教員給与は教員資格によって異なるため教育省から聴取したモデル給与を用いた。教員数は初等学校の午前・午後のシフト授業を行うため必要となる1997年の最低教員数とし、それに幼稚園教員を加えた。中等学校は既に授業が行われており、専門科目の時間給教員が多いため、現在の実績値から一名の増員を推定した。また、2年後の給与の上昇を1割見込んだ。

幼稚園・初等学校 (33校)

$2,900\text{円/月} \times 12\text{ヶ月} \times (118 + 33)\text{人} \times 1.1 = 5,780,280\text{円/年}$ (60.8百万円/年)

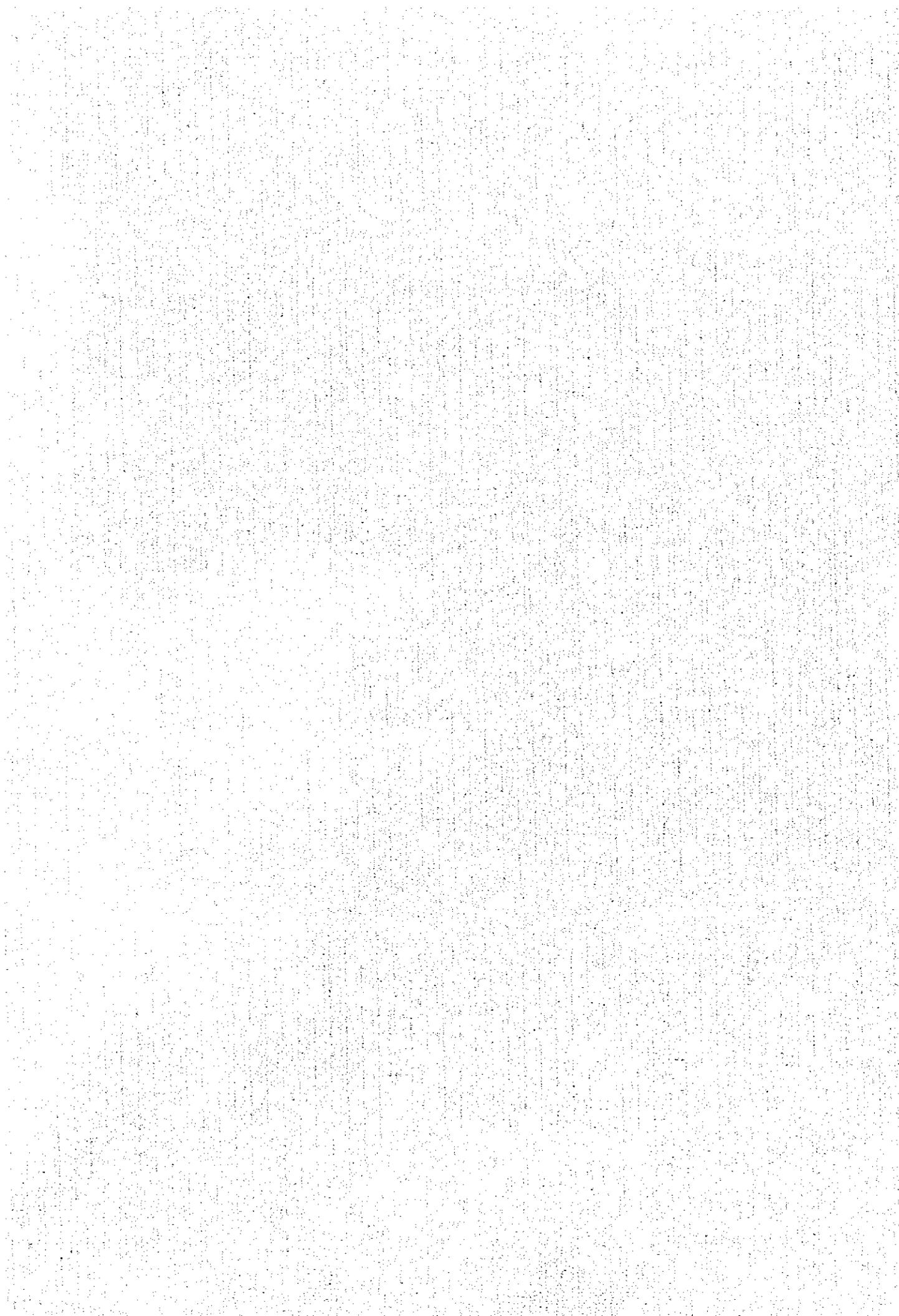
中等学校 (2校)

(18,725円/月 + 6,626円/月 + 2,900円/月)

$\times 12 \times 1.1 = 372,913\text{円/年}$ (3.9百万円/年)

合計 $6,153,193\text{円/年}$ (64.7百万円/年)

第5章 プロジェクトの評価と提言



第5章 プロジェクトの評価と提言

5.1 妥当性に係る実証・検証及び裨益効果

本計画は、エ国の東部地域を中心とした地方農村部に広範囲に分布している初等学校と中等学校の建設と機材整備によって教育の普及、就学率の向上を図り人的資源開発の充実に目的とする計画内容である。

エ国は15歳以下の青少年が極端に多い人口構成であり、これらの人的資源の涵養が、今後の同国の経済の振興、生活の改善並びに科学技術や文化の向上等、さまざまな側面において不可欠となっている。しかしながら、都市部と地方の社会基盤の格差、所得の格差によって、教育へのアクセスには大きな差を生じている。

初等学校1学年の就学適齢児童の内、人口の20%を占めている最貧層の児童は2人に1人しか入学していない。また、都市部と地方の住民では、教育を受けた年数に格差がある。15歳以上の人口の内、都市部住民の平均7年に対して、地方では2.8年と極端に少ない。これは農村における文化的な情報や公的教育サービスが都市に比べて著しく少ないことや生活を維持するために子供が労働力の一部となっていることに起因している。

また、同国では内戦により、1982年には全国3,000校の内877校の学校が閉鎖され、1989年まで575校が閉鎖し続けた。この期間に、約10万人の児童が公的教育の外に追いやられたことになる。特に、この学校閉鎖は地方で多く、地方では戦禍を避けるため多くの家族が疎開して、地域コミュニティの崩壊が生じた例が多い。このようなコミュニティでは、住民が疎開先から元の居住地へ戻りつつあるため、まだ安定していない状態にあるところが多い。

このような状況の中で、本計画の性質、現実性および効果から判断して、本計画の日本の無償資金協力による実施の妥当性を以下のように検証する。

(1) 計画の裨益対象

本計画のサイトは、僻地を含む地方農村部に広範囲に分布している。地方農村の多くは貧困層から形成され、教育の機会に恵まれない地域が多い。本計画の対象校の生徒数は現在3,717名であり、整備後の初等学校、中等学校への最大受入れ生徒数は、約10,880人に上り、約3倍の収容生徒数となる。恵まれない地域の青少年の学習環境が向上し教育の機会が増加することによって、教育の普及が促進される。また、就学適齢年齢生徒以外の住民にも成人教育や地域コミュニティ活動の場として本計画施設が活用されるため、相当多数の国民が裨益するものと判断される。

初等学校、中等学校の受入れ生徒数は以下の様に計算される。

幼稚園	40 (人)	× 1 (教室)	× 25 (校)	= 1,000 (人)
3教室	40 (人)	× 3 (教室)	× 30 (校)	= 3,600 (人)
4教室	40 (人)	× 4 (教室)	× 3 (校)	= 480 (人)

初等学校収容生徒数計 5,080 (人) × 2 = 10,160 (人)

初等学校は午前・午後の授業となるので対象生徒数は、10,160人となる。

$$\begin{array}{l} \text{計} 3 \quad 40 \text{ (人)} \times 6 \text{ (学級)} \times 1 \text{ (校)} = 240 \text{ (人)} \\ \text{計} 11 \quad 40 \text{ (人)} \times 12 \text{ (学級)} \times 1 \text{ (校)} = 480 \text{ (人)} \end{array}$$

中等学校収容生徒数計 720 (人)

初等・中等学校収容生徒数計 10,880 (人)

本計画の施設・機材の整備による学習環境の向上は、生徒の学習意欲のみならず教員の職場環境が向上することとなり教員の定着率の向上にもつながる。

(2) 計画の目的

本計画は就学前教育、初等教育並びに中等教育用の教育施設・機材を整備するものであり、未来を担う多くの青少年の人造りに直接寄与するため、極めて有益なプロジェクトである。また、本計画で整備される学校の位置は、所得の低い地方農村部の貧困地域、内戦被災を強く受けた戦災復興地域が多い。本計画は、住民の教育環境の大幅な改善を通し、地域社会の振興に向けて重要な社会基盤を形成することに資すると共に、地域コミュニティの安定した生活の強化に大きく貢献するものである。

(3) 国の運営能力

本計画実施後の学校運営は、主として地域コミュニティが行うものである。公立学校制度の1つとしてのEDUCOプログラムによる住民参加の学校運営指導は5年目に入り、大きな成果をあげている。

一方、外国および国際機関からの援助によって、カリキュラムの改編、教材配布および教員再訓練等の教育のソフト面への支援が強化されているため、学校運営に当たって大きな障害となるものはない。

さらに、教育省は教育行政の地方分権化を推進しており、現在の教育省地方支部は将来的に県支部に分割されることが計画決定されている。現在の地方支部単位の管理よりもきめ細かで迅速なサービス（指導・研修・予算配分）が可能となると予想される。また、学校の維持管理に対する予算面では学校基金制度（補助金）の導入を確立する方向にある。このような周辺状況より、監督責任機関である教育省の本計画実施後の運営・維持管理に対する具体的な方策もあり計画実施は妥当と判断される。

(4) 上位計画との整合性

1999年までの新経済社会計画の教育分野の目標は、地方農村部の初等教育の普及に重点が置かれ、初等教育の第2サイクル(1~6年)までの教育普及の達成が優先目標となっている。本計画による施設・機材整備はその優先目標の達成に直接援助していることから新経済社会計画に整合している。

また、同計画において中等教育の就学率、教育の質を向上させ労働市場のニーズに対する人的資源開発も重要な目標とされている。特に、本計画による実習用機材を使った職業訓練実習が可能となり、教育の質が向上し、実社会の労働市場で役立つ人材が育成される。従って、本計画は、教育分野の国家目標の達成に大きく貢献する計画内容である。

現在の地方農村部の幼児、少年の栄養改善をめざした世界食糧計画（国家家族庁）、学校栄養計画（F I S）による初等学校給食を援助する食糧配布、メニュー作り等が実施されている。本計画による学校内の厨房で給食の調理が可能となり、学校給食が普及し幼児、少年の栄養状態の改善に役立つ効果は大きい。

(5) 計画の収益性

本計画は、エ国の地方農村部において、教育の機会に恵まれない青少年に義務教育、職業教育の機会を与えるための初等・中等学校の建設計画であり、施設建設および機材整備による直接的な収益はない。

(6) 環境面の影響への配慮

本計画サイトの多くは起伏にとんだ地形をもつ地方の農村地帯に位置している。サイトは傾斜地が多く、樹木が繁っている場所がほとんどであり、平坦な施設建設の用地を確保することが困難である。このため、基本設計では、造成量を少なくし、樹木伐採を極力少ない場所に施設を配置する工夫を行っている。これは傾斜面の保護に留意することによって、計画施設に対する自然災害を防止するとともに、周辺環境および景観との著しいアンバランスを避けている。

現況の地方農村部における学校の便所・手洗いの未整備な状態から、本計画による衛生設備の便所、手洗いを生徒が利用できるようになるため、生徒の公德心の向上、衛生観念の向上に役立つ効果がある。また、便所の汚水処理方法を従来穴に汚物を直接溜める地下水への影響がある方式からアンモニア等を分解させる貯留槽を通過させる方式に変える計画をすることにより汚染の度合いを低くしている。

(7) 無償資金協力の制度

以上の検討結果を総合的に判断すると、本計画は日本の無償資金協力の制度によって実施することは可能であり効果も高いものと判断される。

5.2 技術協力・他ドナーとの連携

エ国の初等教育・中等教育に対する外国および国際機関の技術援助は広範囲に行われている。

現在、初等教育には、現在、USAIDやBIRFによる技術協力が行われており、教育省もその実施に大きな期待を寄せている。一方、日本の青年海外協力隊が教育省体育局、技術専門学校等で協力している。今後も、協力隊による同分野の協力はエ国側で必要とされている。本計画の実施後の教育活動においては、初等教育に比べ海外の援助が少ない中等教育に対して日本からの技術協力を検討する考えは持っている。本計画の実施後、より効果をあげるためには教育省が以下の事項について確実な実施をすることが重要な要素と考えられる。

- ①中等教育のカリキュラムの改善
- ②中等教育教員の再教育
- ③初等教育教員養成コース終了者でない初等学校教員の再教育
- ④実施された改編教材の確実な配布と学習指導のための教員研修
- ⑤地方農村部における文化的環境を高めるための図書、情報網の強化
- ⑥各初等学校間での生徒および教員の交流による学習環境への刺激
- ⑦地域コミュニティの教育意識を高揚するための成人教育や文化講演の拡大
- ⑧教育施設利用の公德心を高め、長期的に良好な学習環境を維持できるための施設維持管理プログラムの完全適用
- ⑨教育省の政策立案能力の向上
- ⑩本計画実施による教育の普及、教育の質改善の波及を調査し、学習環境の悪い地域への整備促進

5.3 課題

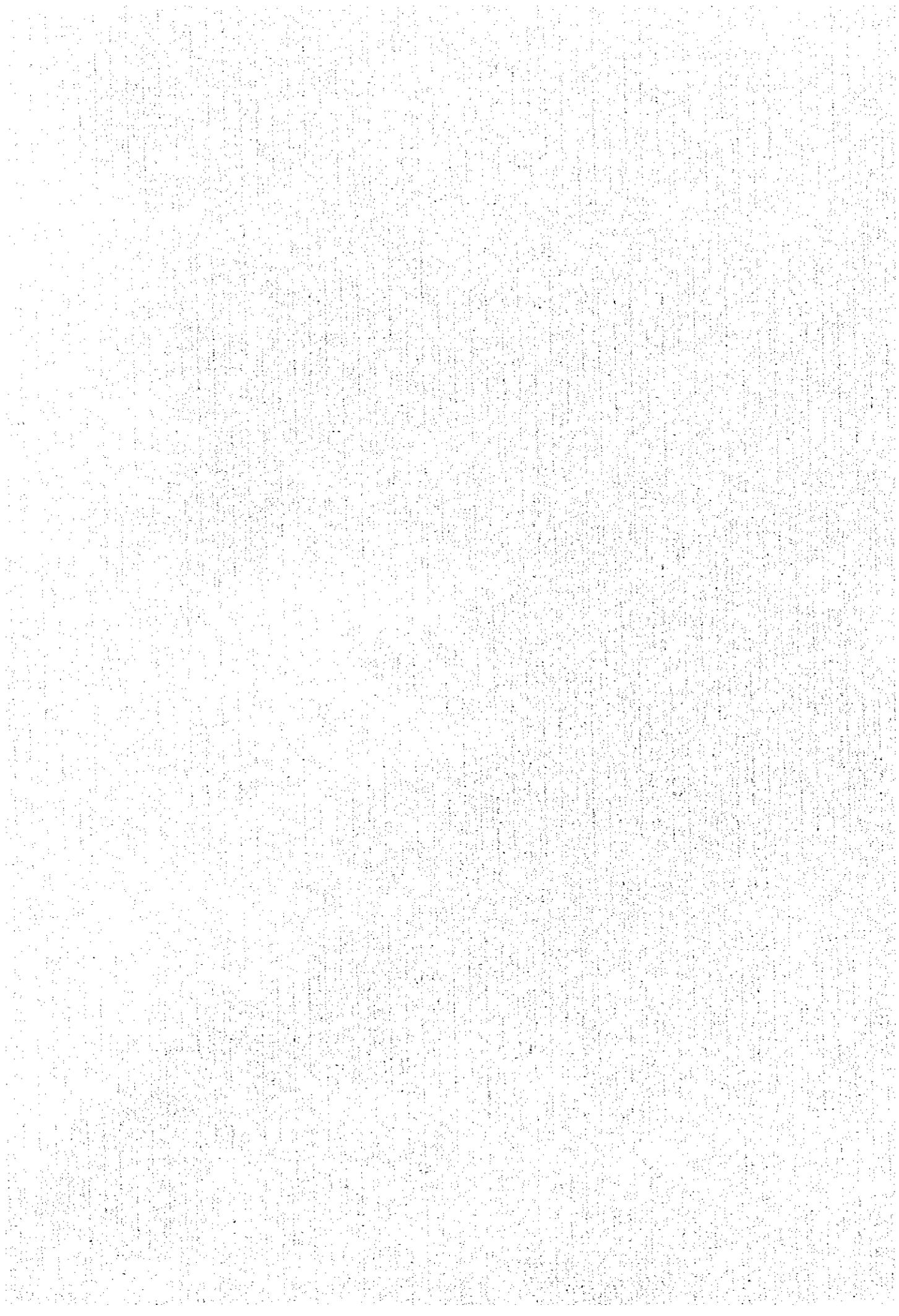
本計画は、エ国の東部地域および中部地域の多くの貧困層を主体とする住民の教育並びに民生安定に寄与するものであることから、本計画を無償資金協力で実施する意義は大であると判断される。しかし、本計画実施後、より効果的な施設・機材の利用を実現するために、エル・サルヴァドル国側が講ずるべき措置として以下の事項があげられる。

- ①エ国の義務教育は無償であるため、教育には多くの予算を必要とする。内戦終了から数年経過した現在、同国の経済は回復しつつあり、教育省への予算配分も上向きとなっている。エ国の教育分野の通常予算は、教員給与等の人件費が多くを占めている。今後、教育行政の地方分権化の推進と合理化によって、非効率な支出を削減し、教材費や施設の維持管理費等の予算を確保することが必要とされる。
- ②現在、同国では初等学校教員の養成機関がないため、教育省が初等教育以外の教員資格を有する者に研修を行い、資格を付与している。この方式は初等教員の需要を賄うための緊急措置であり、質の良い教員の供給は期待できない。従って、同国の7つの大学（国立1校、私立6校）で1995年に設置している初等学校教員養成コースを確実に継続することが不可欠である。

③地方の公立中等学校は、職業教育重視のカリキュラムとなっている。しかしながら、現在の産業界のニーズにあった知識、技能をもった生徒を輩出できる授業・実習内容となっていない。さらに、大学教育への進学に対応できるカリキュラムとなっていないため、多くの地方の公立中等学校の生徒は、大学教育への進学の道が狭められている。従って、教育省が現在進めている中等教育のカリキュラム改善により、産業界への良質な人材を供給でき、且つ職業教育の生徒にも大学進学の手機を与える必要がある。さらに地方の貧困層への奨学金制度を拡大する等、地方の人材育成を教育行政の中に反映することが必要である。

④教育省地方支部の視察官は、本計画で整備される施設・機材の維持管理のため各学校を巡回し、教員やACEのメンバーまたは父兄を指導することとなっている。また、学校校舎・機材の維持管理のマニュアルが世銀の援助によって改訂されている。視察官は地方の実情を十分理解しながら各学校、コミュニティの関係者がマニュアルに従って施設・機材の維持補修を確実に行えるよう十分指導し、各学校のもつ問題点を上位機関にフィードバックさせ、継続的な学校の維持管理体制の構築に向けた役割を果たす必要がある。

資料編



資料1 調査団員氏名、所属

〔基本設計調査〕

(1) 荒井 朝徳	総 括	外務省大臣官房会計課兼 経済協力局無償等経理室長
(2) 向井 一朗	計画管理	国際協力事業団無償資金協力調査部 基本設計調査第2課
(3) 伊達 幸孝	業務主任者	システム科学コンサルタンツ㈱
(4) 谷 和明	建築計画Ⅰ	同上
(5) 梶原 稔	建築計画Ⅱ	同上
(6) 早原 章広	施工計画・設備	同上
(7) 若松 裕	通訳	同上

〔基本設計概要説明調査〕

(1) 板垣 克巳	総 括	外務省経済協力局無償資金協力課
(2) 永澤 敬勝	計画管理	国際協力事業団総務部情報管理課
(3) 伊達 幸孝	業務主任者	システム科学コンサルタンツ㈱
(4) 若松 裕	通訳	同上

資料2 現地調査日程表

現地調査日程表〔基本設計調査〕

(1/2)

工程	月日	曜日	活動	荒井	向井	伊達	谷原	梶原	早原	若松
1	7月2日	日	・成田発、マイアミ着							○
2	3日	月	・マイアミ発、サンサル着、大使館表敬							○
3	4日	火	・教育省合同会議（インセプション説明）							○
4	5日	水	・パシフィックへ移動、東部支部協議（調査日程調整） ・サイト調査							○
5	6日	木	・東部支部協議（学校建設状況） ・成田発、マイアミ着							○
6	7日	金	・サイト調査（中等学校）／ボーリング調査							○
7	8日	土	・東部支部協議（施設維持管理） ・建設事情調査							○
8	9日	日	・団内協議／ボーリング業者協議							○
9	10日	月	・東部支部協議（施設維持管理体制） ・サインアップ調査							○
10	11日	火	・サイト調査（中等学校）／ボーリング調査							○
11	12日	水	・団内打合せ／資料整理							○
12	13日	木	・東部支部協議（中等学校教育） ・建設事情調査							○
13	14日	金	・東部支部協議（栄養改善計画） ・建設事情調査							○
14	15日	土	・サイト調査							○
15	16日	日	・団内打合せ／資料整理							○
16	17日	月	・パシフィックへ移動、教育省協議（質問書回答） ・サインアップ調査							○
17	18日	火	・教育省協議（サイト調査状況、土地取得） ・サインアップ調査							○
18	19日	水	・教育省中間報告会							○
19	20日	金	・他機関協議（FIS, 大学） ・建設事情調査							○
20	21日	金	・他機関協議（国立家族局, SRN） ・サインアップ調査							○
21	22日	土	・団内打合せ、資料整理							○
22	23日	日	・団内打合せ、資料整理 ・成田発							○

現地調査日程表（基本設計調査）

(2/2)

工程	月日	活 動	荒 井 伊 達 谷 原 梶 原 松
23	24日	月 ・サンサル着 ・団内打合せ、資料整理	○○○○○○○○
24	25日	火 ・大使館、教育省、企画調整省表敬・協議	○○○○○○○○
25	26日	水 ・サンサルへ移動、サイト調査 ・建設事情調査、資料整理	○○○○○○○
26	27日	木 ・サイト調査、類似施設視察、サンサルへ移動 ・建設事情調査、資料整理	○○○○○○○
27	28日	金 ・教育省協議（サイト調査結果評価報告） ・大使館報告	○○○○○○○○
28	29日	土 ・教育省協議（ミニッツ案）	○○○○○○○○
29	30日	日 ・団内打合せ	○○○○○○○○
30	31日	月 ・ミニッツ署名	○○○○○○○○
31	8月1日	火 ・資料整理 ・サイト調査（代替地） ・類似施設視察、建設事情調査	○○○○○○○
32	2日	水 ・サンサル発 ・資料収集、資料整理	○○○○○○○
33	3日	木 ・サンサル発 ・資料収集、資料整理	○○○○○○○
34	4日	金 ・資料収集、資料整理	○○○○○○○
35	5日	土 ・成田着 ・資料収集、資料整理	○○○○○○○
36	6日	日 ・サンサル発	○○○○○○○
37	7日	月 ・移動	○○○○○○○
38	8日	火 ・成田着	○○○○○○○

現地調査日程表（基本設計概要説明調査）

工程	日付	曜日	活動	板垣 永澤 伊達 若松
1	10月26日	木	・成田発	○○○
2	27日	金	・サンサル着、教育省協議（日程協議、計画内容説明）	○○○
3	28日	土	・板垣団長ワシントン発、サンサル着 ・団内打合せ	○ ○○○○
4	29日	日	・団内打合せ、資料整理	○○○○
5	30日	月	・大使館表敬、教育省表敬、協議（計画内容説明）	○○○○
6	31日	火	・教育省協議（相手国負担の説明、ミニッツ案協議）	○○○○
7	11月 1日	水	・サイト視察、類似施設視察	○○○○
8	2日	木	・団内打合せ、資料整理	○○○○
9	3日	金	・ミニッツ署名、調整省表敬、大使館報告 中央銀行協議	○○○○ ○○
10	4日	土	・サンサル発	○○○○
11	5日	日	・移動	○○○○
12	6日	月	・成田着	○○○○

資料3 相手国関係者リスト

相手国関係者リスト (基本設計調査)

1. 教育省

1.1 教育省本庁

フリャ・メルセデス・デ・キンタニジャ
Arq. Julia Mercedes de Quintanilla

学校施設課長
Directora de la Unidad de
Infraestructura Educativa

コンスエロ・カベサス・デ・リンキ
Lic. Consuelo Cabezas de Linqui

教育計画技術員
Técnico de Planificación Educativa

マリオ・アントニオ・レイジェス
Lic. Mario Antonio Reyes Rivera

法律顧問
Asesor Jurídico del MINED

ローサ・エレナ・デ・ガルダメス
Lic. Rosa Elena de Galdámez

教育設備課技術員
Técnico de la Unidad de
Infraestructura Educativa

ルイス・バスケス・レシーノス
Sr. Luis Vásquez Recinos

教育設備課技術員
Técnico de la Unidad de
Infraestructura Educativa

サンドラ・デ・トゥリゲーロス
Ing. Sandra de Trigueros

国際協力プロジェクト室技術協力室長
Jefe de la Unidad de Asistencia Técnica,
OPCI

アナ・ヤンシ・パラダ・エルナンデス
Sra. Ana Yansi Parada Hernández

国際協力プロジェクト室海外協力技術員
Técnico en Cooperación Externa, OPCI

1.2 中央支部

フランシスコ・ウビルフレッド・パナメーニョ
Sr. Francisco Ubilfredo Panameño

支部長
Gerente de Región Central

エナ・グリセルダ・ソト・デ・アラゴン
Sra. Ena Gricelda Soto de Aragón

建設保全課長
Jefe de Construcciones y Mantenimiento

ホセ・グレゴリオ・サントス・ピノ
Sr. José Gregorio Santos Pino

支部技術者
Técnico Región Central

1.3 東部支部

アリスティデス・オマール・フローレス・モリーナ
Lic. Aristides Omar Flores Molina

支部長
Gerente de Región Oriental

エドガー・マウリシオ・ロペス・カスタニェーダ
Ing. Edgar Mauricio López Castañeda

建設保全課長
Jefe de Construcciones y Mantenimiento

ホセ・オスカー・ゲバラ・アルバレス
Sr. José Oscar Guevara Alvarez

教育計画技術員
Técnico Planificación Educativa

ジョコンダ・エウディン・ロボ・アルゲータ
Sra. Dioconda Eudyn Lovo Argueta

教育II課技術員
Técnico Educativo II (EDUCO)

ホセ・フェルミン・ビジャフォロ Sr. José Fermín Villaforo	中等教育技術員 Técnico Educación Media
マルゴ・ゴンサレス・ウマニャ Sra. Margoth Gonzalez Umaña	EDUCO 計画地方調整員 Coordinadora Regional del Programa EDUCO
アミルカール・アントニオ・メディーナ Sr. Amilcar Antonio Medina Reyes	レイジェス 支部技術員 Técnico Región Oriental
ラウル・オスワルド・マルティネス Sr. Raúl Oswaldo Martínez	支部技術員 Técnico Región Oriental
マウリシオ・クビアス・イグレシアス Sr. Mauricio Cubías Iglesias	支部技術員 Técnico Región Oriental
ダグラス・エドムンド・アルメンダレス Sr. Douglas Edmundo Almendarez	サン・ミゲール県調整員 Coordinador Departamental San Miguel (PMA)
ゴンサロ・アルノルド・セラヤ・チャベス Sr. Gonzalo Arnoldo Zelaya Chávez	モラサン県調整員 Coordinador Departamental Morazán (PMA)
2. 経済社会開発調整省	
マリア・テレサ・O・デ・レンドン Sra. María Teresa O. de Rendón	次官 Viceministra de Coordinación
リーナ・カルデロン Sra. Lina Calderón	海外協力次長 Sub-Directora de Cooperación Externa
フランシスコ・アントニオ・リバス Sr. Francisco Antonio Rivas	海外協力実施員 Asistente Ejecutivo de Cooperación Externa
布施 幸秀	JICA 専門家
3. 国家再建復興局	
エリサベス・R・デ・レボージョ Arq. Elizabeth R. de Rebollo	技術課長 Directora Técnica
4. 社会投資基金	
カルロス・マウリシオ・ドゥケ Ing. Carlos Mauricio Duque	振興評価課長 Gerente de Promoción y Evaluación
5. 国家家族庁:	
オスカー・トレド Sr. Oscar Toledo	食料援助部計画課長 Gerente de Proyectos, División de Asistencias Alimentarias
6. フランシスコ・ガビディア大学	
ロサリオ・C・メルガー・デ・バレラ Lic. Rosario C. Melgar de Varela	社会科学学部長 Decana de la Facultad de Ciencias Sociales
マグダレーナ・デ・ニチェ Lic. Magdalena de Niche	初等教育教員養成課程調整員 Coordinadora de la Carrera Formación de Maestros de Educación Básica

7. セントロアメリカノ技術学校 (ITCA)

ジュリアン・ソリアーノ
Ing. Julian Soriano

自動車技術部長
Gerente del Departamento de Ingeniería
Automotriz

8. 在エル・サルヴァドル日本国大使館

石原 重孝

特命全権大使

古尾谷 清

二等書記官

三輪 能弘

二等書記官

9. 青年海外協力隊エル・サルヴァドル調整員事務所

山際 秀雄

所長

10. 学校関係者

リカルド・アントニオ・ルナ
Sr. Ricardo Antonio Luna Flores

プエルトリコ国立中等学校長
Director de Instituto Nacional de
Puerto El Triunfo

ラファエロ・アルキメデス・ロメロ
Sr. Rafael Arquímides Romero

プエルトリコ国立市長
Alcalde Municipal de Puerto El Triunfo

ホセ・エセビオ・チカ・ザバラ
Sr. José Eusebio Chicar Zavala

プエルトリコ国立中等学校父兄会長
Patronato Instituto Nacional de
Puerto El Triunfo

相手国関係者リスト（基本設計概要説明調査）

1. 教育省

1.1 本省

アビガイル・カストロ・デ・ペレス
Lic. Abigail Castro de Pérez

教育次官
Viceministra de Educación

ロベルト・A・モラン
Lic. Roberto Antonio Morán

国際協力プロジェクト室長
Director de OPCI

ミリアン・H・メレンデス
Lic. Mirian Hirezi de Meléndez

教育計画総局長
Directora de Planificación Educativa

フリャ・メルセデス・デ・キンタニジャ
Arq. Julia Mercedes de Quintanilla

教育施設課長
Directora de la Unidad de Infraestructura Educativa

マリオ・アントニオ・レイジェス
Lic. Mario Antonio Reyes Rivera

法律顧問
Asesor Jurídico del MINED

コンスエロ・カベサス・デ・リンキ
Lic. Consuelo Cabezas de Linqui

教育計画技術員
Técnico de Planificación Educativa

ルイス・バスケス・レシーノス
Arq. Luis Vásquez Recinos

教育施設課技術員
Técnico de la Unidad de Infraestructura Educativa

サンドラ・リバス・デ・トリゲロス
Ing. Sandra Rivas de Trigueros

国際協力プロジェクト室技術協力長
Jefe de la Unidad de Asistencia Técnica, OPCI

アナ・ヤンシ・パラダ・エルナンデス
Sra. Ana Yansi Parada Hernández

国際協力プロジェクト室外国協力技術員
Técnico en Cooperación Externa, OPCI

1.2 東部支部

ヘクター・アントニオ・ペレス
Lic. Hector Antonio Pérez

支部教育計画局調整員
Coordinador, Planificación Educativa, Región Oriental

ラウル・オスワルド・マルティネス
Sr. Raúl Oswaldo Martínez

支部技術員
Técnico Región Oriental

2. 経済社会開発調整省：

マリア・テレサ・O・デ・レンドン
Lic. María Teresa O. de Rendón

次官
Viceministra de Coordinación

リーナ・カステリャーノス・デ・ハルキン
Lic. Rina Castellanos de Jarquín

海外協力部長
Directora de Cooperación Externa

フランシスコ・アントニオ・リバス
Lic. Francisco Antonio Rivas

海外協力部
Asistente Ejecutivo de Cooperación Externa

布施 幸秀

JICA 専門家

3. 中央銀行

ジーノ・ロランド・ベタグリオ
Lic. Gino Rolando Bettaglio

第2副頭取
Segundo Vice Presidente

カルメン・エレナ・ブリズエラ・デ・アレマン 国際課
Lic. Carmen Elena Brizuela de Alemán Gerente Internacional

4. 在エル・サルヴァドル日本国大使館

石原 重孝

特命全権大使

山口 祐志

参事官

古尾谷 清

二等書記官

5. 学校関係者

リカルド・アントニオ・ルナ
Sr. Ricardo Antonio Luna Flores

プエルトリコ 中等学校長
Director de Instituto Nacional de
Puerto El Triunfo

ラファエロ・アルキメデス・ロメロ
Sr. Rafael Arquímides Romero

プエルトリコ 市長
Alcalde Municipal de Puerto El Triunfo

ホセ・エセビオ・チカ・ザバラ
Sr. José Eusebio Chicar Zavala

プエルトリコ 中等学校父兄会長
Patronato Instituto Nacional de
Puerto El Triunfo

資料4 エル・サルヴァドル国の社会・経済事情

(1/2)

一般指標				
国名	エル・サルヴァドル共和国		面積	21.0千km ² #4
政体	共和制	#1	人口	5,753千人(1991年) #4
元首	カウカス カルキン 大統領	#1	首都	サン・サルヴァドル #1
独立年月日	1821年 9月15日	#1	主要都市名	サンタ・アナ, サン・ミゲル #1
人種(部族)構成	メスティゾ(91%)、インディオ(5%)	#1	経済活動可能人口	2,000千人(1992年) #5
言語・公用語	スペイン語	#1	教育制度	初等教育(9年)：義務教育 中等教育(3年) #8
宗教	ローマ・カトリック(75%)	#1	初等教育就学率	79.4%(1994年) #8
国連加盟	1945年10月	#2	識字率	75.0%(1994年) #8
世銀加盟・IMF加盟	1946年3月	#3	人口密度	246人/km ² (1994年) #8
			人口増加率	2.3%(1994年) #8
			平均寿命	平均67.2、男66.4、女68.0 #4
			5歳児未死亡率	5.7%(1994年) #8
			カロリー供給量	2,330.0cal/日/人(1990年) #5

経済指標				
通貨単位	コロン	#1	貿易量	(1993年) #8
為替レート	8.755 コロン/ us \$(1995年10月)	#1	輸出	732.0百万us \$
会計年度	1月1日~12月31日	#1	輸入	1,912.0百万us \$
国家予算	(1993年)	#7	輸入カバー率	3.3%(1992年) #11
歳入	967.3百万us \$		主要輸出品目	コーヒー、砂糖、エビ、綿花 #4
歳出	830.8百万us \$		主要輸入品目	天然資源、消費財、資本財 #1
国際収支	- 148.2百万us \$(1991年)	#7	日本への輸出	62.3百万us \$(1994年) #8
ODA受取額	463.9百万us \$(1993年)	#8	日本からの輸出	1,248.3百万us \$(1994年) #8
国内総生産(GDP)	7,625百万us \$(1993年)	#9	外貨準備総額	595.0百万us \$(1994年) #8
一人当たりのGNP	1,320 us \$(1993年)	#9	対外債務残高	1,366.1百万us \$(1994年) #8
GDPの産業別構成	一次産業 23.41%(1993年)	#8	対外債務返済率	14.1%(1994年) #8
	鉱工業 19.02%(1993年)		インフレ率	8.9%(1991年) #8
	サービス業 57.54%(1993年)		国家開発計画	新経済社会開発計画(1994-99)
産業別雇用	農業 35.8%(1992年)	#8		
	鉱工業 18.5%(1992年)			
	サービス業 42.6%(1992年)			
経済成長率	6.0%(1994年)	#8		

気象(1961年~1984年平均) 場所: San Salvador 標高(682 m)													
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	平均/計
最高気温	32.0	33.0	34.0	34.0	33.0	31.0	32.0	32.0	31.0	31.0	31.0	32.0	32.1°C
最低気温	16.0	16.0	17.0	18.0	19.0	19.0	18.0	19.0	19.0	18.0	17.0	16.0	17.6°C
平均気温	24.0	24.5	25.5	26.0	26.0	25.0	25.0	25.5	25.0	24.5	24.0	24.0	24.9°C
降水量	8.0	5.0	10.0	43.0	196.0	328.0	292.0	297.0	307.0	241.0	41.0	10.0	1778.0mm
雨期/乾期	乾期	乾期	乾期		雨期	雨期	雨期	雨期	雨期	雨期		乾期	

- 出典) #1 The World Factbook(C. I. A)1993 #8 教育省
 #2 United Nations Information Center(FAX)(1994) #9 World Tables (1995)
 #3 Development Assistance Annual Report(1995) #10 World Tables (1994)
 #4 The World Fact Book(1995) #11 World Debt Tables 1993-1994
 #5 Human Development Report(1994) #12 最新世界各国民要覧(1995)
 #6 International Financial Statistics(1995) #13 World Weather Guide(1990)
 #7 International Financial Statistics Year Book (1994)

#14

	1989年度	1990年度	1991年度	1992年度
無償資金協力	2,043.46	2,382.47	2,515.30	2,609.97
技術協力	2,146.74	1,989.63	2,050.70	2,194.95
有償資金協力	5,161.42	5,676.39	7,364.47	5,852.05
総額	9,351.62	10,048.49	11,930.47	10,746.97

#3

	1990年度	1991年度	1992年度	1993年度
無償資金協力	0.27	0.57	0.81	1.59
技術協力	7.96	6.88	10.51	19.23
有償資金協力	0.00	0.00	- 3.46	- 5.92
総額	8.23	7.45	7.86	14.90

#14

	贈与(1)		有償資金協力 (2)	政府開発援助 (ODA) (1)+(2)-(3)	その他政府資金 および民間資金 (4)	経済協力総額 (3)+(4)
	技術協力					
二国間援助 (主要供与国)	293.60	150.70	21.40	315.00	0.00	315.00
1. ドイツ	15.20	7.00	5.30	20.50	0.00	20.50
2. イタリア	11.30	0.90	0.00	11.30	0.00	11.30
3. オランダ	8.60	803.00	0.00	8.60	0.00	8.60
4. 日本	11.30	0.80	- 3.50	7.80	0.00	7.80
多国間援助 (主要援助機関)	95.10	14.70	- 1.20	93.90	- 17.00	76.90
その他	00.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	388.70	165.40	20.20	408.90	- 17.00	391.90

#15

技 協	関係各省庁・機関⇒外務省
無 償	関係各省庁・機関⇒外務省
協力隊	関係各省庁・機関⇒外務省

出典) #14 Geographical Distribution of Financial Flows
of Developing Countries (1994)

#15 国際協力情報 (JICA)

資料 5 サイト変更要請理由書

JUSTIFICACION PARA LA SUSTITUCION DE SITIOS INCORPORADOS EN EL PROYECTO JAPON.

FASE II

NO	SITIO ORIGINALMENTE PROPUESTO Número correlativo sobre estudio Preliminar.	CAUSAS POR LAS QUE NO SE PUEDE REALIZAR EL PROYECTO	SITIO SUSTITUTO PROPUESTO	RAZONES POR LAS CUALES SE PROPONE EL NUEVO SITIO
52	CASERIO LOS VASQUEZ, C/EL RODEO, J/SEMSEBRA, D/MORAZAN.	LA ESCUELA REQUERIDA FUE CONSTRUIDA POR EL F.I.S.	CANTON MAZALA, J/JOATECA, D/MORAZAN. 20	ESTA ESCUELA POSEE UN LOCAL DE ADOBE, CONSTRUIDO POR LA COMUNIDAD Y NO CUENTA CON LAS CONDICIONES DE SEGURIDAD Y PEDAGOGICAS NECESARIAS.
53	CASERIO QUEBRADA HONDA, C/CERRO PELON, J/PASAQUINA, D/LA UNION.	NECESIDAD ATENDIDA POR EL F.I.S.	CASERIO LAS HUERTAS, C/QUESERA, J/SAN ALEJO, D/LA UNION. 32	LA CONSTRUCCION DE ESTA ESCUELA ES DE SISTEMA MIXTO, PERO FUE CONSTRUIDA POR LA COMUNIDAD, POR LO QUE PRESENTA DETERIORO Y PELIGRO FISICO PARA LOS ALUMNOS POR LOS AGRIETAMIENTOS.
56	CASERIO CONACASTILLO, C/AMAYA, J/LOLOTIQUE, D/SAN MIGUEL	CENTRO EDUCATIVO CONSTRUIDO POR EL F.I.S.	CANTON SAN MARCOS, J/SENSUNTEPEQUE, D/CABAÑAS. 35	EL LOCAL DONDE LOS MAESTROS DESARROLLAN SUS LABORES, ES CONSTRUCCION DE ADOBE Y CON UN CONTINUO DETERIORO FISICO
57	CANTON SAN JUAN LORA ALTA, J/BERLIN, D/USULUTAN.	ESCUELA CONSTRUIDA Y REPARADA POR EL F.I.S.	CANTON SAN JOSE CERRO GRANDE, J/SAN CAYETANO ISTEPEQUE, D/SAN VICENTE. 34	LOS MAESTROS ATIENDEN A LA POBLACION ESCOLAR EN UNA CASA COMUNAL, QUE ES UTILIZADA PARA OTRAS ACTIVIDADES DE LA COMUNIDAD.

JUSTIFICACION PARA LA SUSTITUCION DE SITIOS INCORPORADOS EN EL PROYECTO JAPON.

F A S E II

Nº	SITIO ORIGINALMENTE PROPUESTO	CAUSAS POR LAS QUE NO SE PUEDE REALIZAR EL PROYECTO	SITIO SUSTITUTO PROPUESTO	RAZONES POR LAS CUALES SE PROPONE EL NUEVO SITIO
61	CASERIO LA JOYA, C/LAS MARIAS, J/NUEVA ESPARTA, D/LA UNION.	POSEE UN ACCESO PEATONAL CON UNA DISTANCIA DE 6 KILOMETROS.	CASERIO LOS GUZMANES, C/TALPETATES, J/NUEVA ESPARTA, D/LA UNION. 29	LA POBLACION ESTUDIANTIL DE ESTA COMUNIDAD, DESARROLLA SUS LABORES EN UNA GALERA QUE NO OFRECE CONDICIONES PEDAGOGICAS NECESARIAS.
62	CASERIO PIEDRA PARADA, C/HONDABLE, J/CORINTO, C/MORAZAN	LA ESCUELA REQUERIDA FUE CONSTRUIDA POR EL F.I.S.	CASERIO EL PAPALON, C/TULIMA, J/ANARDROS, D/LA UNION. 27	LA ESCUELA FUE CONSTRUIDA POR LA COMUNIDAD, POR LO QUE NO TIENE LAS CONDICIONES PEDAGOGICAS NECESARIAS Y SE ENCUENTRA EN DETERIORO.
63	CASERIO LAS MARIAS, C/CORRALITO, J/CORINTO, D/MORAZAN.	TIENE ACCESO PEATONAL DE 1 KILOMETRO	CASERIO LA CEIBA, C/MOJONES, J/SANTA ROSA DE LIMA, D/LA UNION. 28	EL LOCAL UTILIZADO COMO ESCUELA, ES UNA VIVIENDA PRESTADA QUE PUEDE SER SOLICITADA POR EL PROPIETARIO.
65	CASERIO GUACHIPILIN, C/AMAYA, J/LOLOTIQUE, D/SAN MIGUEL.	LA TOPOGRAFIA DEL TERRENO ES MUY IRREGULAR.	CASERIO EL PORVENIR, C/LAS ANONAS, J/TECOLUCA, D/SAN VICENTE. (2)	LA COMUNIDAD HA CONSTRUIDO UNA GALERA CON TECHO DE LAMINA, POR LO QUE NO REUNE LAS CONDICIONES PEDAGOGICAS.

JUSTIFICACION PARA LA SUSTITUCION DE SITIOS INCORPORADOS EN EL PROYECTO JAPON.

F A S E II

Nº	SITIO ORIGINALMENTE PROPUESTO	CAUSAS POR LAS QUE NO SE PUEDE REALIZAR EL PROYECTO	SITIO SUSTITUTO PROPUESTO	RAZONES POR LAS CUALES SE PROPONE EL NUEVO SITIO
66	CASERIO LOS CABRERA, C/EL DERUMBADO, J/LISLIOUE, D/LA UNION.	PARA LLEGAR AL SITIO HAY UN ACCESO PEATONAL DE 2 KILOMETROS.	CANTON JOYA DE LAS TUNAS, J/BOLIVAR, D/LA UNION. 30	ESTA ESCUELA POSEE UN LOCAL DE SISTEMA MIXTO, EN CONSTANTE DETERIORO FISICO.
70	CANTON POTRERO DE JOCO, J/ESTANZUELAS, D/JUSULUTAN.	SOLAMENTE SE PUEDE LLEGAR AL SITIO A PIE.	CASERIO SAN FRANCISCO DE LA CRUZ, C/GUACHIPILIN, J/SAN ILDEFONSO, D/SAN VICENTE. (6)	LA POBLACION ESCOLAR DE ESTA ESCUELA, RECIBE SUS CLASES EN EL CORREDOR DE UNA CASA, AL AIRE LIBRE.
71	CASERIO EL ANATILLO, C/EL GAVILAN, J/EL CARMEN, D/LA UNION.	EL CENTRO EDUCATIVO FUE CONSTRUIDO POR EL F.I.S.	CASERIO TEHUACAN, C/EL ARCO, J/TECOLUCA, D/SAN VICENTE. (1)	EN ESTA COMUNIDAD LA POBLACION ESCOLAR, DESARROLLA SUS FUNCIONES EN UNA CASA COMUNAL.
72	CASERIO CORRALITO, C/AMAYA, J/LOLOTIOUE, D/SAN MIGUEL.	NECESIDAD DE INFRAESTRUCTURA ATENDIDA POR EL F.I.S.	CANTON EL PUENTE, J/TECOLUCA D/SAN VICENTE. (3)	LA ESCUELA FUNCIONA EN UN LOCAL ARRENDADO MUY DETERIORADO.

JUSTIFICACION PARA LA SUSTITUCION DE SITIOS INCORPORADOS EN EL PROYECTO JAPON.

F A S E II

Nº	SITIO ORIGINALMENTE PROPUESTO	CAUSAS POR LAS QUE NO SE PUEDE REALIZAR EL PROYECTO	SITIO SUSTITUTO PROPUESTO	RAZONES POR LAS CUALES SE PROPONE EL NUEVO SITIO
75	CANTON POZA HONDA, J/REANGUERA, D/MORAZAN.	ESCUELA CONSTRUIDA POR F.I.S.	CASERIO PUEBLO VIEJO, C/AGUA ESCONDIDA, J/CONCHAGUA, D/LA UNION. 31	LA ESCUELA DESARROLLA SUS FUNCIONES EN UNA VIVIENDA PRESTADA, POR LO QUE URGE DE UN LOCAL PROPIO.
76	CASERIO MARCHENA, C/SANTA BARBARA, J/USULUTAN, D/USULUTAN.	NO ES POSIBLE ESCRITURAR EL INMUEBLE A FAVOR DEL MINISTERIO DE EDUCACION, POR TENER SOBRE HIPOTECA.	CASERIO NAHUALAPA, C/EL PEDREGAL, J/EL ROSARIO, D/LA PAZ. 6	LA POBLACION ESCOLAR RECIBE SU ENSEÑANZA EN UNA CASA CONSTRUIDA DE ADOBE, MADERA Y TEJA, MATERIALES QUE NO SON DURABLES.
			CANTON LAS ANONAS, J/TECOLUCA, D/SAN VICENTE. (5)	EL LOCAL DONDE LA ESCUELA DESARROLLA SUS ACTIVIDADES ES PROPIEDAD PRIVADA, ES DECIR QUE NO SE CUENTA CON UN LOCAL PROPIO.
			CANTON SANTA EDUVIGES, J/ NUEVA SAN SALVADOR, D/LA LIBERTAD. (4)	ESTA COMUNIDAD FUE PROPUESTA POR EL SUPERVISOR DE DISTRITO, ES UNA ZONA MARGINAL Y LA ESCUELA ESTA LABORANDO EN LA CASA COMUNAL, QUE TAMBIEN ES UTILIZADA PARA DIFERENTES ACTIVIDADES DE LA COMUNIDAD.

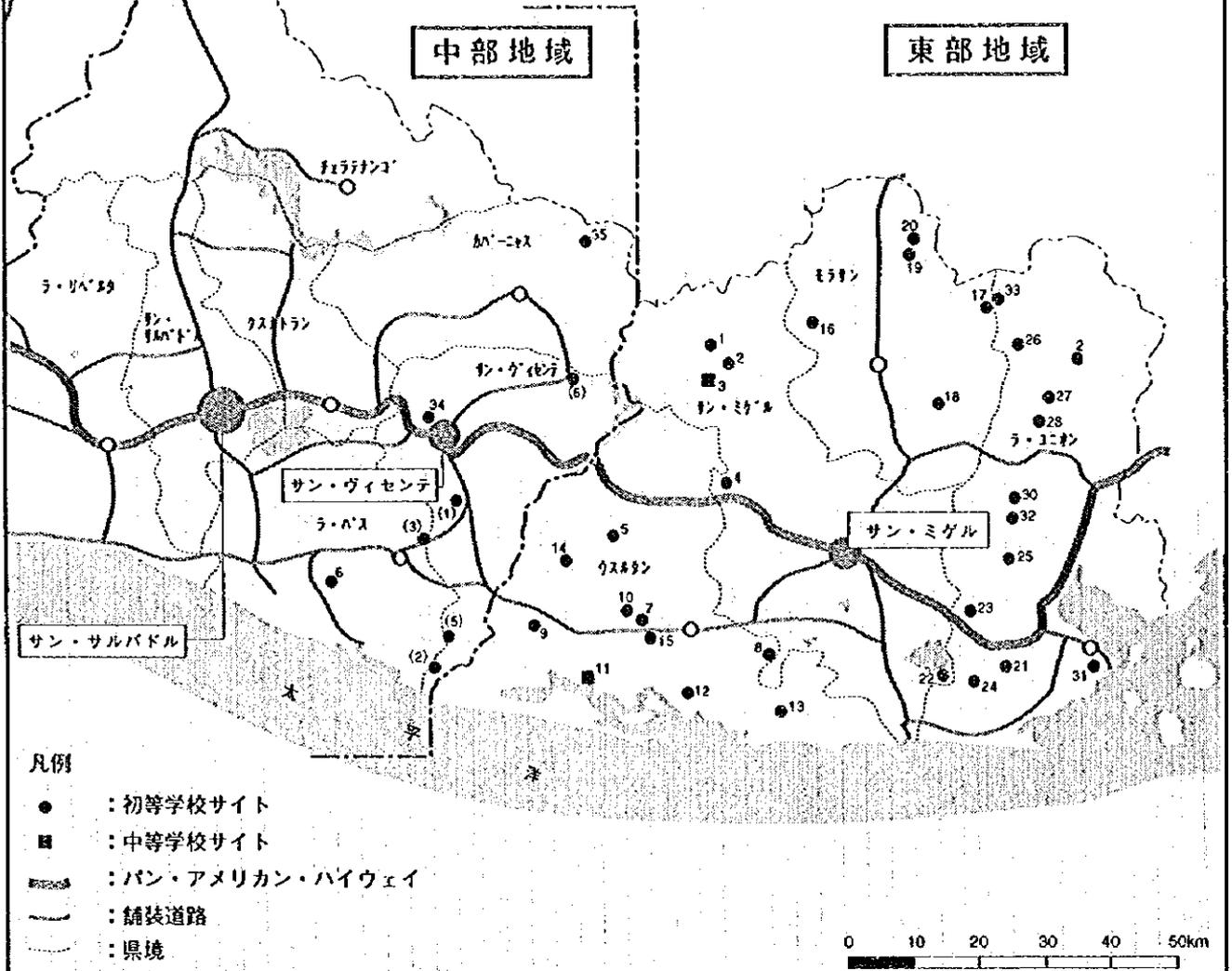
資料5 サイト変更要請理由（和文）

事前 ト 番号	事前調査対象サイト	計画実施不能の理由	代替サイト	新サイト提案理由
52	CASERIO LOS VASQUEZ, C/EL RODEO J/SENSEMBRA, D/MORAZAN	FIS によって必要な学校 建設済	CANTON MAZALA, J/JOATECA, D/MORAZAN -20-	本校はコミュニティーが建設した干 乾煉瓦造りの建物で、教育に適した 安全性や条件が整っていない
53	CASERIO QUEBRADA HONDA, C/CERRO PELON, J/PASAQUINA D/LA UNION	FIS によって必要は満た された	CASERIO LAS HUERTAS, C/QUESERA, J/SAN ALEJO, D/LA UNION -32-	校舎はコミュニティーによって建設 された混構造で、亀裂などによる破 損で生徒への危険が危惧される
56	CASERIO CONACASTILLO, C/AMAYA, J/LOLOTIQUE, D/SAN MIGUEL	FIS によって学校建設済	CANTON SAN MARCOS, J/SENSUNTEPEQUE D/CABAÑAS -35-	授業は干乾煉瓦の建物で行われてお り、破損が恒常的である
57	CANTON SAN JUAN LOMA ALTA, J/BERLIN, D/USULUTAN	FIS によって学校建設済	CANTON SAN JOSE CERRO GRANDE, J/SAN CAYETANO ISTEPEQUE, D/SAN VICENTE -34-	本校は公民館を使用して授業が行わ れており、授業以外の活動にも利用 されている
61	CASERIO LA JOYA, D/LAS MARIAS, J/NUEVA ESPARTA, D/LA UNION	アクセスが徒歩6キロあ る	CASERIO LOS GUZMANES, C/TALPETATES J/NUEVA ESPARTA, D/LA UNION -29-	授業は粗末な小屋で行われており、 必要な教育条件を満たしていない
62	CASERIO PIEDRA PARADA, C/HON- DABLE, J/CORINTO, C/MORAZAN	FIS によって学校建設済	CASERIO EL PAPALON, C/TULIMA, J/ANANOROS, D/LA UNION -27-	本校の建物はコミュニティーによっ て建設されたもので、必要な教育条 件を満たしておらず、破損が激しい
63	CASERIO LAS MARIAS, C/CORRALI- TO, J/CORINTO, D/MORAZAN	アクセスが徒歩1キロあ る	CASERIO LA CEIBA, C/MOJONES, J/SAN- TA ROSA DE LIMA, D/LA UNION -28-	学校が使用している建物は無償で借 用している民家であり、将来所有者 からの返還要請があり得る
65	CASERIO GUACHIPILIN, C/AMAYA, J/LOLOTIQUE, D/SAN MIGUEL	地形の起伏が大い	CASERIO EL PORVENIR, C/LAS ANONAS, J/TECOLUCA, D/SAN VICENTE -(2)-	コミュニティーが建てたスレート屋 根の校舎で、教育条件を満たしてい ない

事前 調査 番号	事前調査対象サイト	計画実施不能の理由	代替サイト	新サイト提案理由
66	CASERIO LOS CABRERA, C/EL DE- RUMBADO, J/LISLIQUE, D/LA UNION	サイトまで徒歩2キロの 距離あり	CANTON JOYA DE LAS TUNAS, J/BOLI- VAR, D/LA UNION -30-	本校は混雑の建物で、恒常的に破 損が発生している
70	CANTON POTRERO DE JOCO, J/ESTANZUELAS, D/USULUTAN	アクセスが徒歩のみ	CASERIO SAN FRANCISCO DE LA CRUZ, C/GUACHIPILIN, J/SAN ILDEFONSO, D/SAN VICENTE -(6)-	授業は民家の軒先を借りて屋外で行 われている
71	CASERIO EL AMATILLO, C/EL GA- VILAN, J/EL CARMEN, D/LA UNION	FIS によって学校建設済	CASERIO TEHUACAN, C/EL ARCO, J/TE- COLUCA, D/SAN VICENTE -(1)-	このコミュニティでは授業は公民 館で行われている
72	CASERIO CORRALITO, C/AMAYA, J/LOLOTIQUE, D/SAN MIGUEL	FIS によって必要なイン フラは整備された	CANTON EL PUENTE, J/TECOLUCA, D/SAN VICENTE -(3)-	本校は破損の激しい建物を賃借して いる
75	CANTON POZA HONDA, J/MEANGUERA D/MORAZAN	FIS によって学校建設済	CASERIO PUEBLO VIEJO, C/AGUA ES- CONDIDA, J/CONCHAGUA, D/LA UNION/ -31-	授業は無償で借用している民家で行 われており、独自の校舎を持つ緊急 性が高い
76	CASERIO MARCHENA, C/SANTA BAR- BARA, J/USULUTAN, D/USULUTAN	過剰抵当権が設定されて おり、教育省への移管が できない	CASERIO NAHUALAPA, C/EL PEDREGAL, J/EL ROSARIO, D/LA PAZ -6-	本校の授業は干乾煉瓦、木、瓦で建 設されたもので、長期の使用に耐え ない
			CANTON LAS ANONAS, J/TECOLUCA, D/TECOLUCA, D/SAN VICENTE -(5)-	授業は民間の建物を使用して行って おり、学校独自の校舎はない
			CANTON SANTA EDUVIGES, J/NUOVA SAN SALVADOR, D/LA LUBERTAD -(4)-	このサイトはスーパーバイザーが提 案したもので、貧困地区にあり、公 民館を使用している。授業以外の活 動にも利用されている。

資料6 調査対象サイト位置図

ホンデュラス



凡例

- : 初等学校サイト
- : 中等学校サイト
- : パン・アメリカン・ハイウェイ
- : 舗装道路
- : 県境

注) サイト番号は基本設計調査時の要請サイト番号

サイト名称

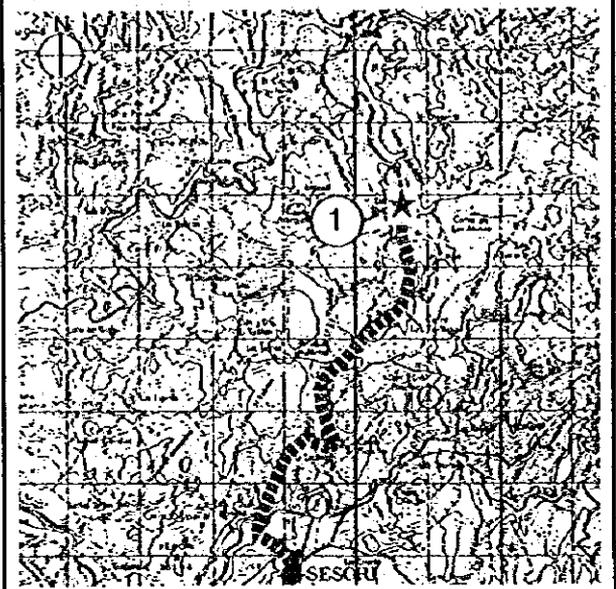
1 Amapala	14 C/El Corozo	27 C/Tulima
2 C/Charlaca	15 C/El Talpetate	28 Cas/La Ceiba
3 I.N. de Sesorí	16 Cas/EL Junquillal	29 Cas/Los Guzmanes
4 Cas/El Chirrión	17 Cas/La Capilla	30 C/Joya de Las Tunas
5 C/El Quebracho	18 Cas/Los Lazos	31 Cas/Pueblo Viejo
6 Nahualapa	19 Volcancillo	32 Cas/Las Huertas
7 Lot/La Poza	20 Mazala	33 C/La Laguna
8 C/El Cañal	21 Col/San Francisco	34 C/Cerro Grande
9 Cas/Nueva Prusia	22 El Guayabito	35 C/San Marcos
10 Hacienda La Poza	23 C/La Cañada	(1) Cas/Tehuacan
11 I.N. de Puerto El Tinufo	24 C/Los Conejos	(2) Cas/El Porvenir
12 Cas/El Botoncillo	25 El Carbajal	(3) C/El Puente
13 Cas/Las Flores	26 C/Higueras	(5) C/Las Anonas
		(6) Cas/San Francisco de la Cruz

調査対象サイト位置図

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画 (II)

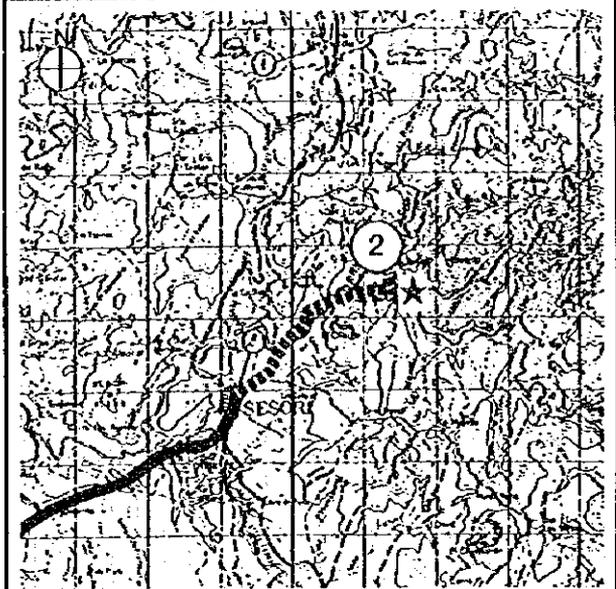
1 Amapala

E.R.M. Amapala, C/San Cristobal,
J/Ciudad Barrios, D/San Miguel



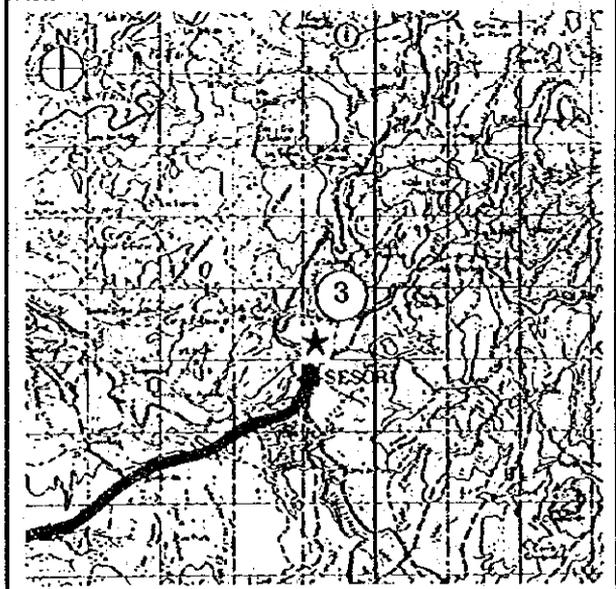
2 C/Charlaca

E.R.M. C/Charlaca, J/Sesori,
S/San Miguel



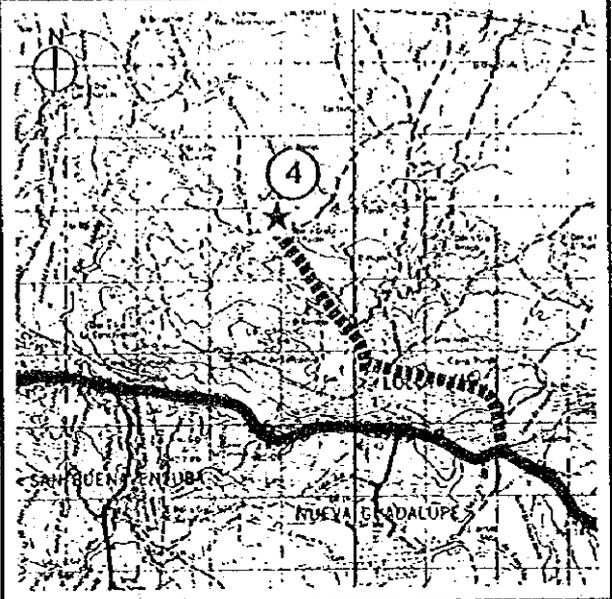
3 I.N. de Sesori

Instituto Nacional de Sesori,
D/San Miguel



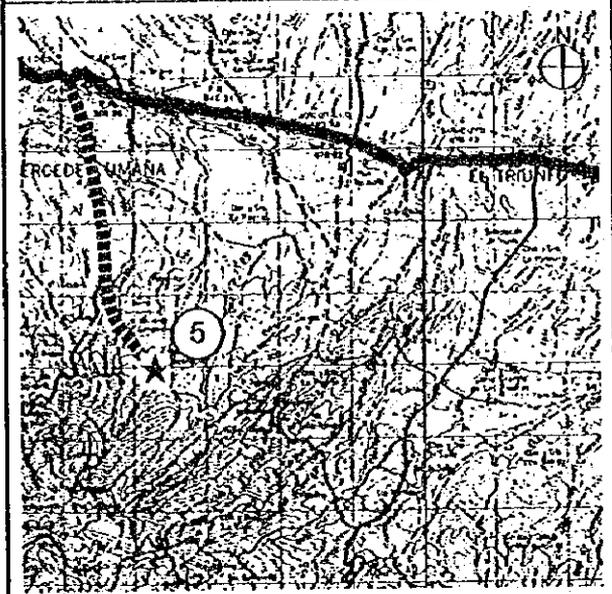
4 Cas/El Chirrión

E.R.M. Cas/El Chirrión, C/El Palón,
J/Lolotique, Dist/San Miguel, D/San Miguel



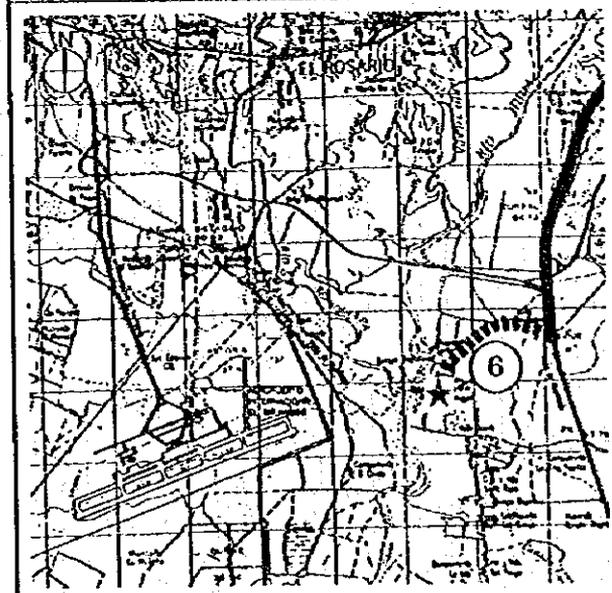
5 C/El Quebracho

E.R.M. C/El Quebracho, J/Alegría,
D/Usulután



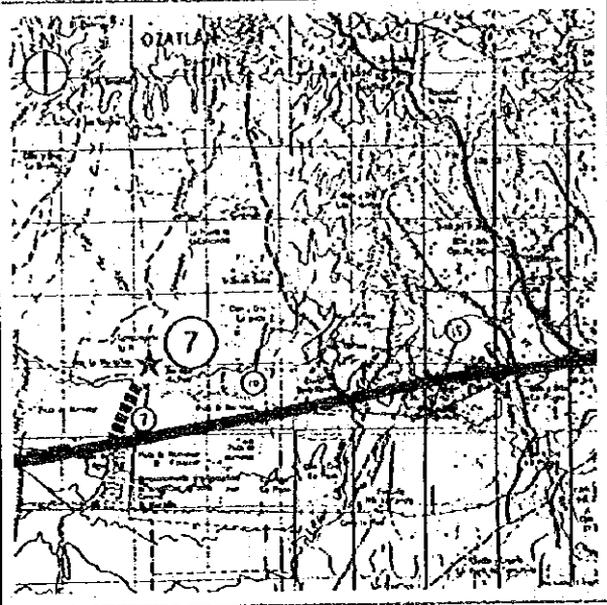
6 Nahualapa

E.R.M. Nahualapa, C/El Pedregal,
J/ Rosario de La Paz, D/La Paz



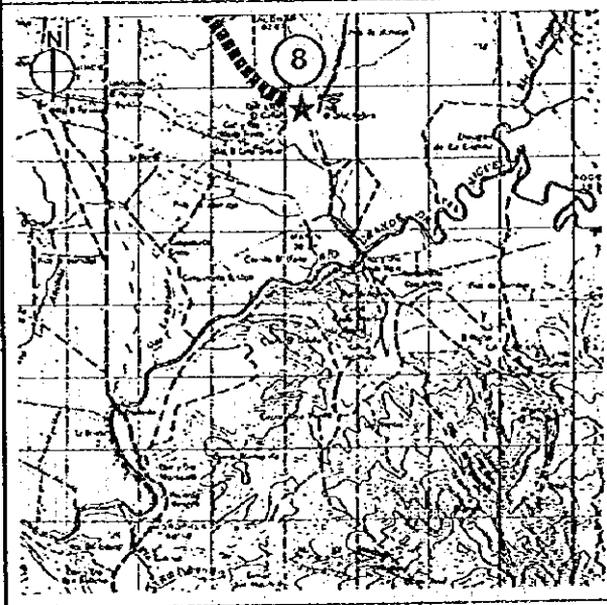
7 Lot/La Poza

E.R.M. Lot/La Poza, C/San José,
J/Jiquilisco, D/Usulután



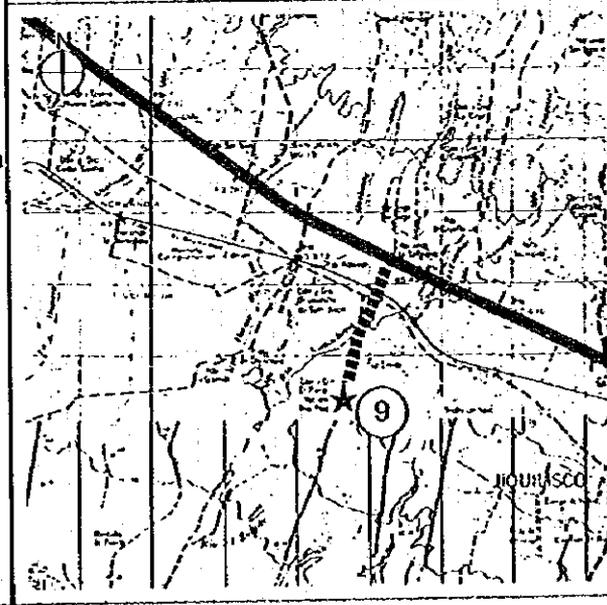
8 C/El Cañal

E.R.M. C/El Cañal, J/Concepción
Batres, D/Usulután



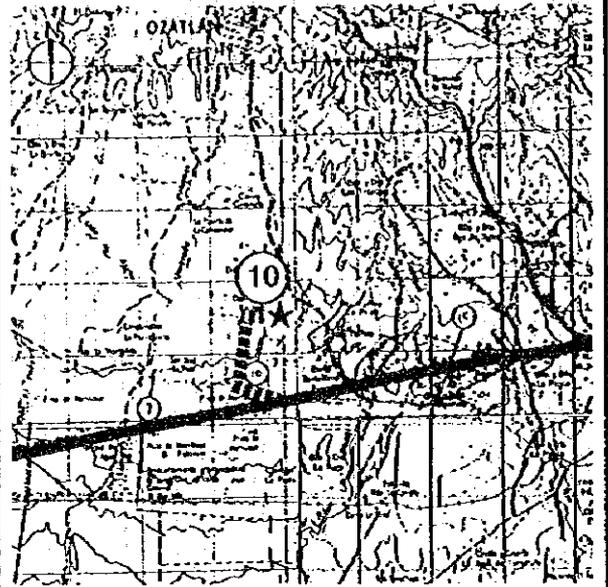
9 Cas/Nueva Prusia

E.R.M. Cas/Nueva Prusia, C/San Juan
Cruzadilla, J/Jiquilisco, D/Usulután



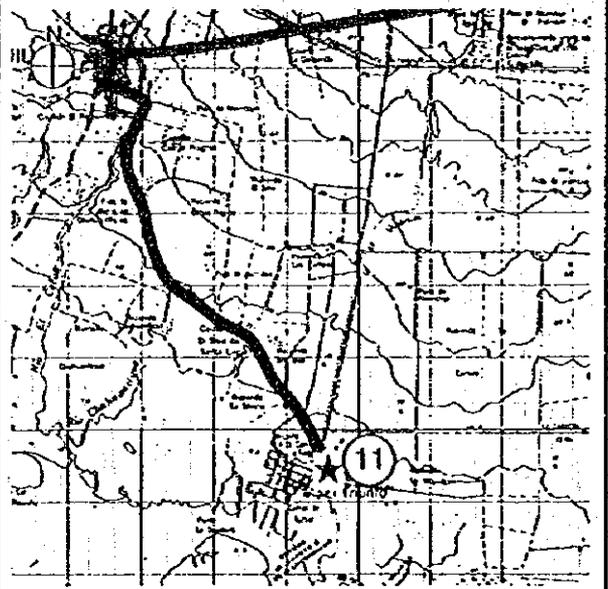
10 Hacienda La Poza

E.R.M. Hacienda La Poza, C/La Poza, J/La Villa de Ozatrán, Dist/Usulután, D/Usulután



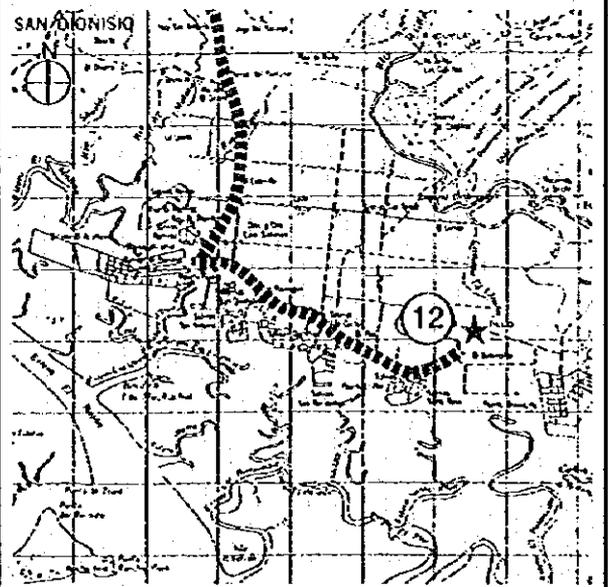
11 I.N. de Puerto El Triunfo

Instituto Nacional de Puerto El Triunfo, D/Usulután



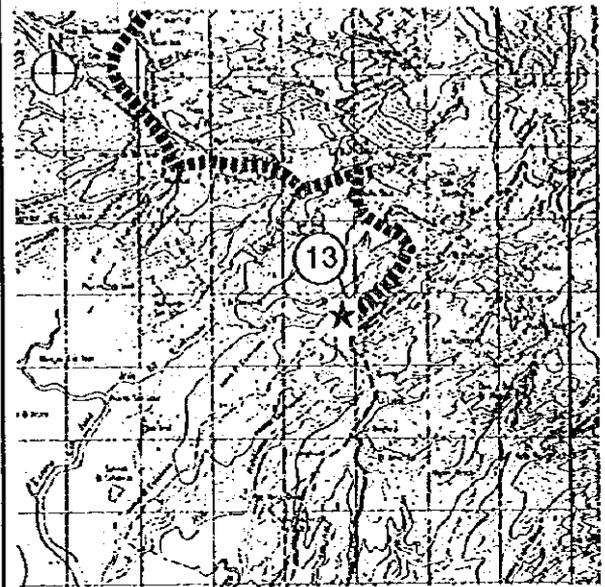
12 Cas/El Botoncillo

E.R.M. Cas/El Botoncillo, C/Las Salinas, J/Usulután, D/Usulután



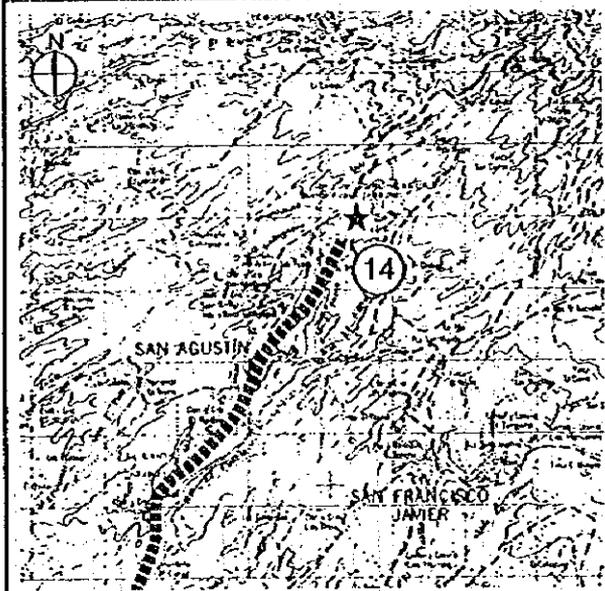
13 Cas/Las Flores

E.R.M. Cas/Las Flores, C/Samuraia, J/
Jucuatán, Dist/Usulután, D/Usulután



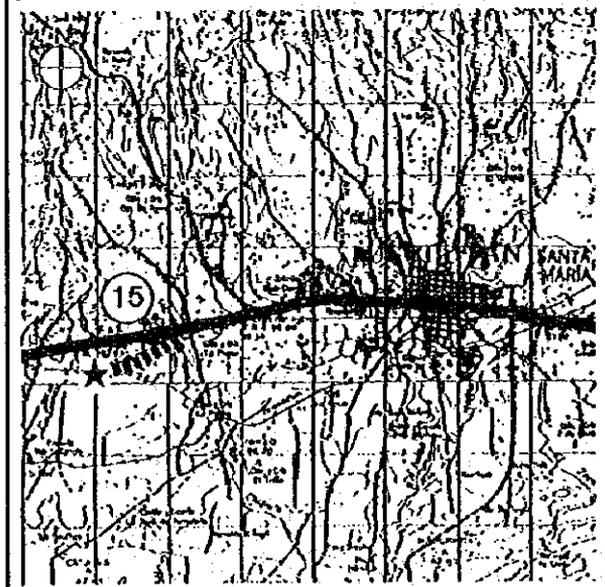
14 C/El Corozo

E.R.M. C/El Corozo, J/San Agustín,
D/Usulután



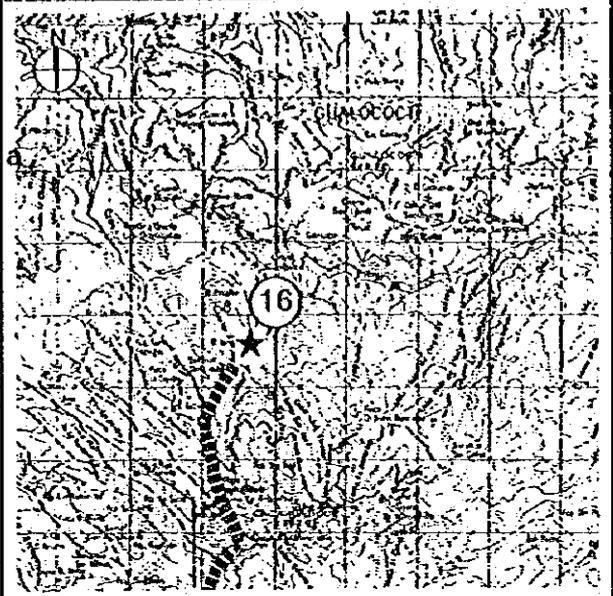
15 C/El Talpetate

E.R.M. C/El Talpetate, J/Usulután,
D/Usulután



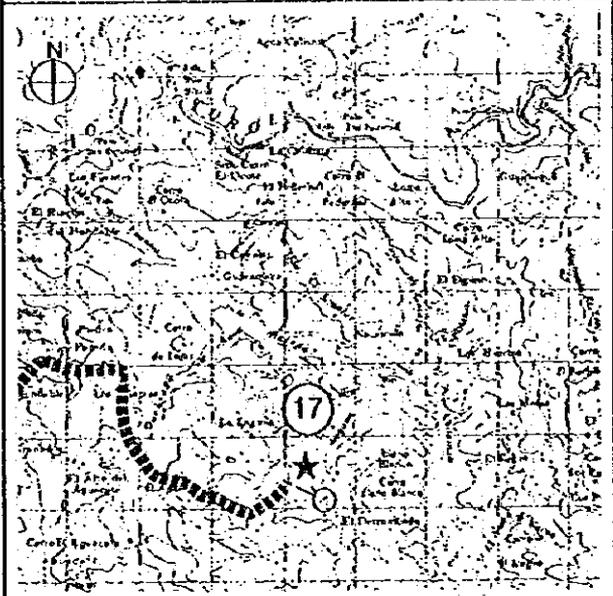
16 Cas/EL Junquillal

E.R.M. Cas/El Junquillal, C/Las Quebradas, J/San Simón, Dist/Osicala D/La Unión



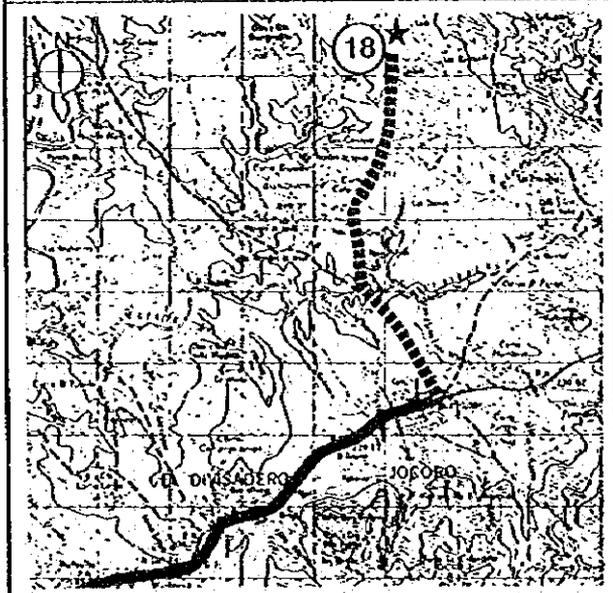
17 Cas/La Capilla

E.R.M. Cas/La Capilla, C/La Laguna, J/Corinto, D/Morazán



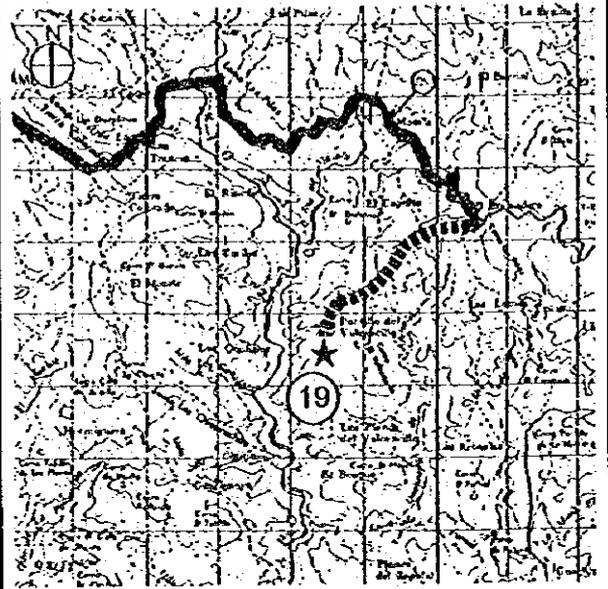
18 Cas/Los Lazos

E.R.M. Cas/Los Lazos, C/Guachipilín, J/Jocoro, D/Morazán



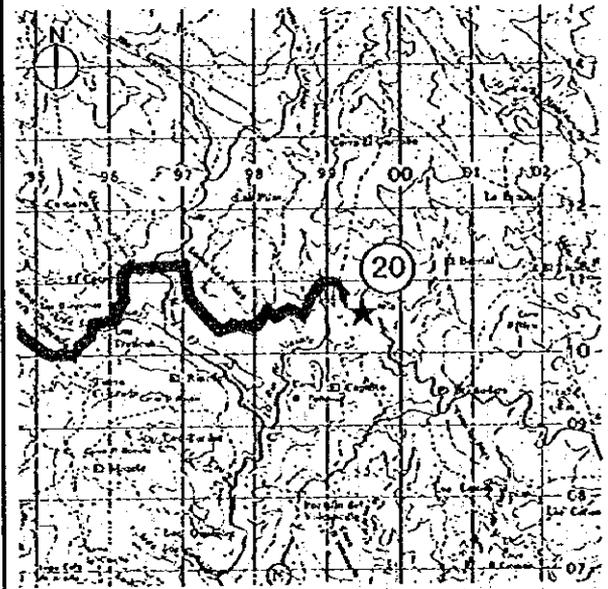
19 Volcancillo

E.R.M. Volcancillo, J/Joateca,
D/Morazán



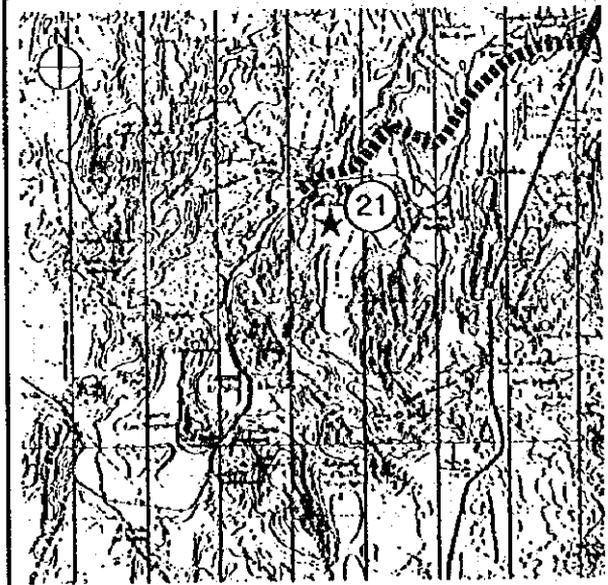
20 Mazala

E.R.M. Mazala, C/Volcancillo,
J/Joateca, D/Morazán



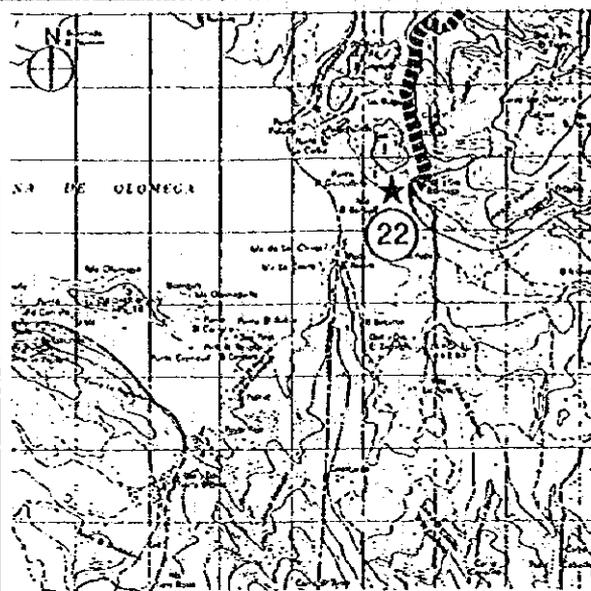
21 Col/San Francisco

E.R.M. Col/San Francisco C/El Pilon,
J/Conchagua, D/La Unión



22 Barrio El Guayabito

E.R.M. Barrio El Guayabito C/
Olomega, J/El Carmen, D/La Unión



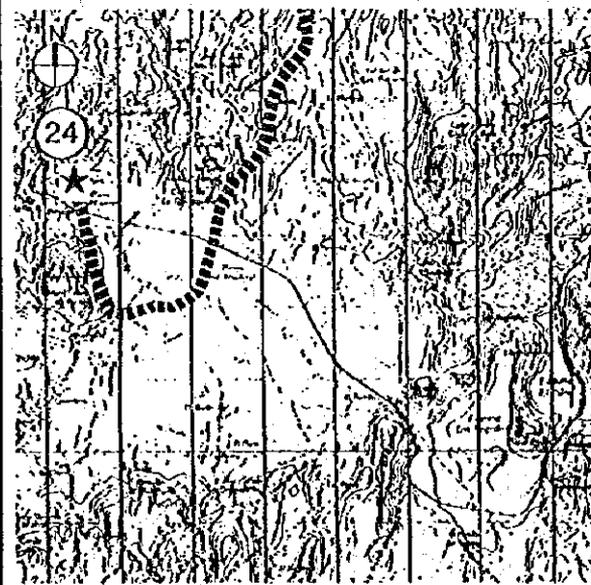
23 C/La Cañada

E.R.M. C/La Cañada, J/El Carmen,
D/La Unión



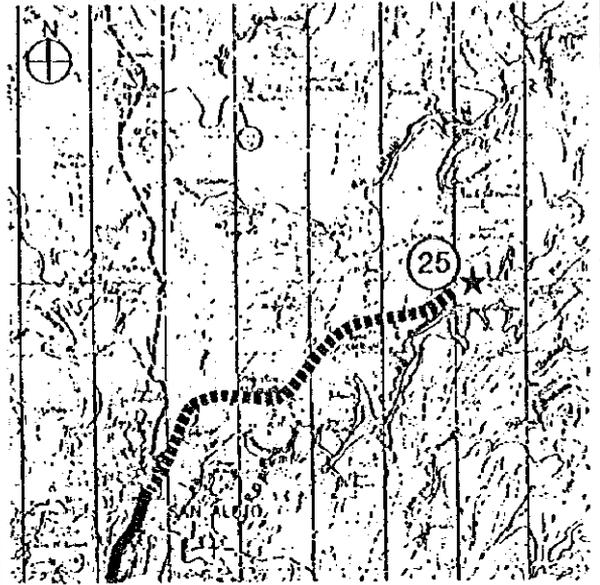
24 C/Los Conejos

E.R.M. C/Los Conejos, J/El Carmen,
D/La Unión



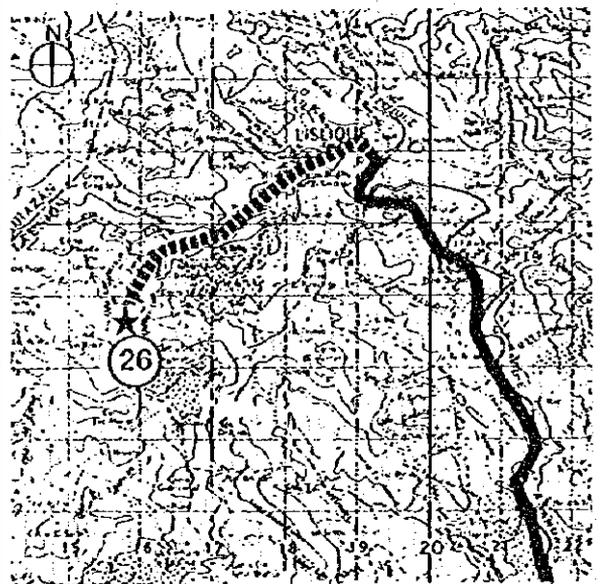
25 El Carbajal

E.R.M. El Carbajal Cas/El Crucilial,
C/Copalio, J/San Alejo, D/La Unión



26 C/Higueras

E.R.M. C/Higueras, J/Lislique,
D/La Unión



27 C/Tulima

E.R.M. C/Tulima, J/Amamoros,
Dist/Santa Rosa de Lima, D/La Unión



28 Cas/La Ceiba

E.R.M. Cas/La Ceiba, C/Mojones,
J/Santa Rosa de Lima, D/La Unión



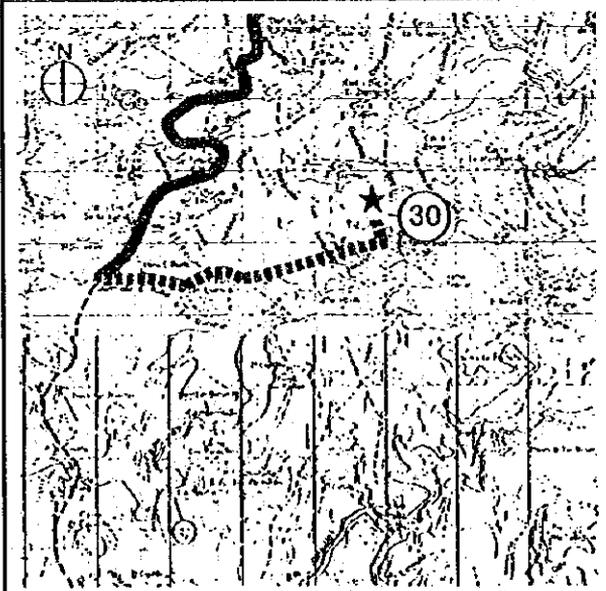
29 Cas/Los Guzmanes

E.R.M. Cas/Los Guzmanes, C/Talpetate,
J/Nueva Esparta, D/La Unión



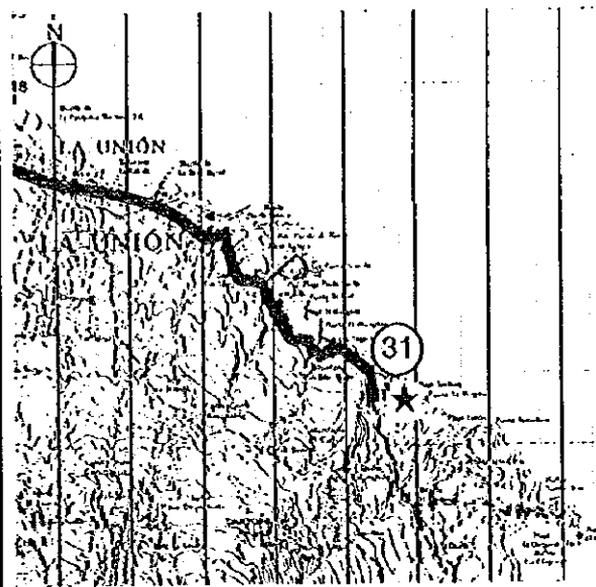
30 C/Joya de Las Tunas

E.R.M. C/Joya de Las Tunas,
J/Bolívar, D/La Unión



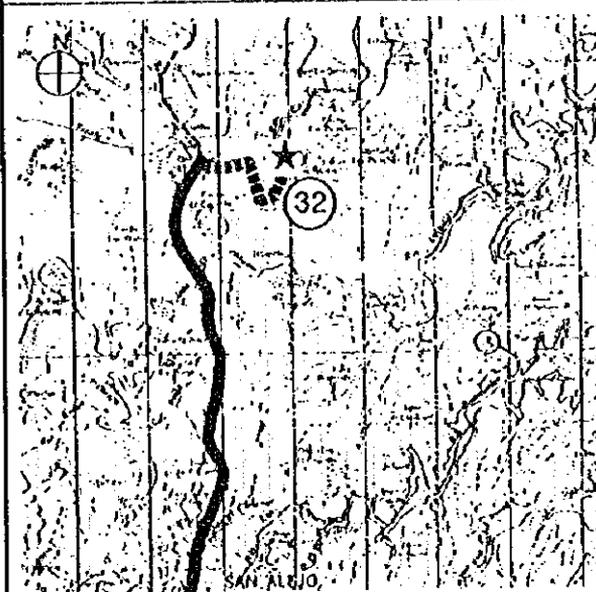
31 Cas/Pueblo Viejo

E.R.M. Cas/Pueblo Viejo, C/Agua Escondida, J/Conchagua, D/La Unión



32 Cas/Las Huertas

E.R.M. Cas/Las Huertas, C/Las Queseras, J/San Alejo, D/La Unión



33 C/La Laguna

E.R.M. C/La Laguna, J/Corinto, D.Morazán



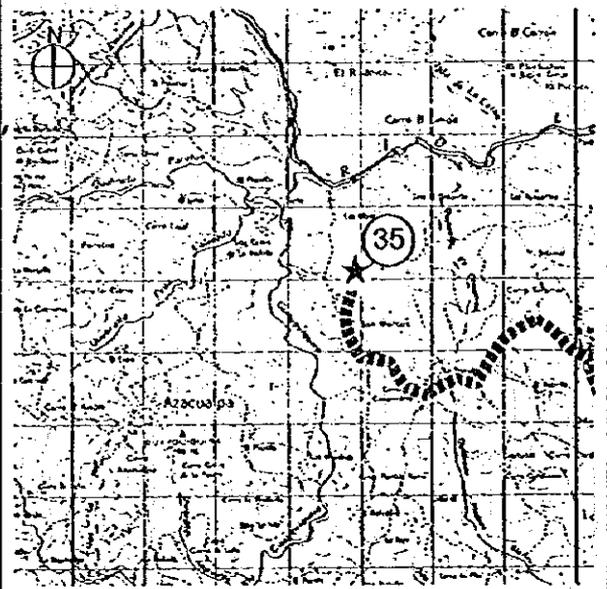
34 C/Cerro Grande

E.R.M. C/Cerro Grande, J/San
Cayetano Istepeque, D/San Vicente



35 C/San Marcos

E.R.M. C/San Marcos, J/Sensuntepeque,
D/Cabañas



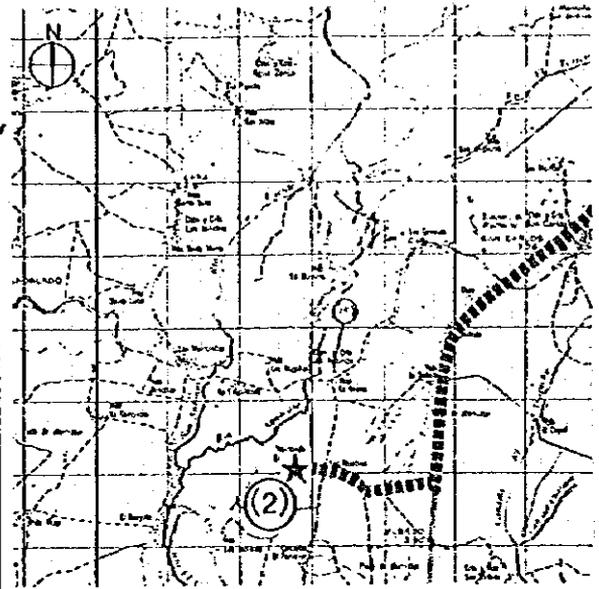
(1) Cas/Tehuacán

E.R.M. Cas/Tehuacán, C/El Arco,
J/Tecoluca, D/San Vicente



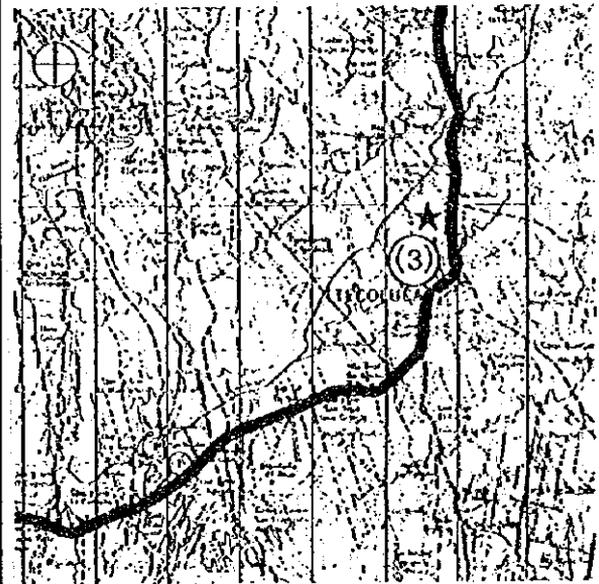
(2) Cas/El Porvenir

E.R.M. Cas/El Porvenir, C/Las Anonas,
J/Tecoluca, D/San Vicente



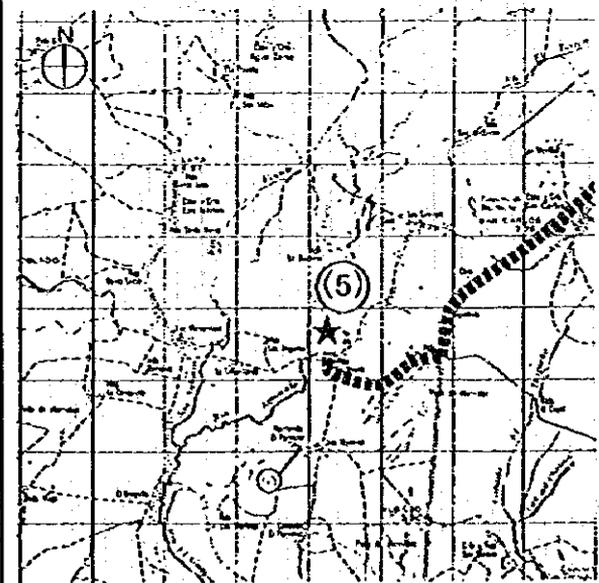
(3) C/El Puente

E.R.M. C/El Puente, J/Tecoluca,
D/San Vicente



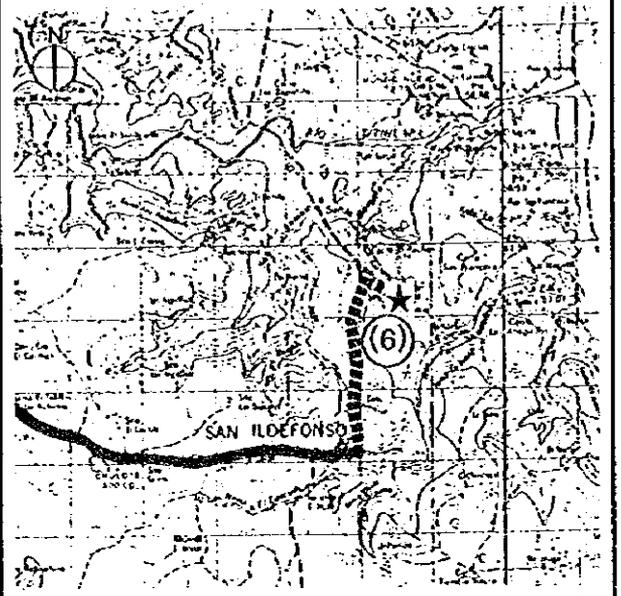
(5) C/Las Anonas

E.R.M. C/Las Anonas, J/Tecoluca,
D/San Vicente



(6) Cas/San Francisco de la Cruz

E.R.M. Cas/San Francisco de la Cruz,
C/Guachipilín, J/San Ildefonso,
D/San Vicente



資料7 サイト別調査結果

No	サイト名	現状と課題
1	Amapala	アクセス路の途中に川があるが、資材搬入は可能。なだらかな傾斜地で面積が大きい。
2	C/Charlaca	サイトは平地地だが、アクセス路に川があり車両通行不可。道路と河川の整備が必要となる。
3	I.N. de Sesori	アクセス路の途中に川があるが、資材搬入は可能。平地地で問題はない。
4	Cas/El Chirrión	川があり雨期の工事は不可。サイト直前に大きな石が多く車両の進入が不可。道路整備が必要。
5	C/El Quebraocho	FISによる学校建設が実施中。
6	Nahualapa	面積は十分だが、地質が水を含むと軟弱になる火山灰土質で基礎方式の検討が必要となる。
7	Lot/La Poza	サイトは、障害物もなく平坦な更地で問題はないが、地質が余り良くない。
8	C/El Cañal	雑木が生い茂り、高低差が約3m、幅4mの岩石混じりの起伏が敷地中央を横断している。
9	Cas/Nueva Prusia	アクセスは良好。サイトは平坦な畑で、施設配置の上で余裕がある。
10	Hacienda La Poza	高低差が大きく、雨により敷地中央に水路の溝がある。盛土造成、排水路整備が必要。
11	I.N. de Puerto El Triunfo	サイトは幹線道路に面しており、平坦で広い更地。
12	Cas/El Botoncillo	平坦で十分な広さであるが、地質が柔らかく、地下水位が高いと想定される。
13	Cas/Las Flores	サイトは傾斜地であるが、平坦部もあり、大規模な造成なしで建設は可能。
14	C/El Corozo	サイトは傾斜面の岩盤上で面積が不十分。前面に崖崩れの跡あり、鉄砲水の恐れがある。
15	C/El Talpetate	アクセスは良好だが土地が狭く、適正規模の校舎建設ができない。
16	Cas/EL Junquillal	平坦な造成済の更地で、十分に締め固まっている。面積、形状は問題がない。
17	Cas/La Capilla	僻地で悪路であるがアクセスは可能。現状はコーン畑である。
18	Cas/Los Lazos	アクセス路に川があるが雨期以外はほぼ良好。傾斜地で小規模な造成が必要になる。
19	Volcancillo	アクセスは悪路だが、資材搬入は可能。傾斜地で大規模な切土造成が必要。
20	Mazala	敷地は狭い。既存校舎の撤去、仮設校舎の建設、法面保護が必要となる。
21	Col/San Francisco	低木が繁る広く平坦な敷地である。試掘の結果、表層の地質が余り良くない。
22	Barrio El Guayabito	降雨による敷地の浸食、地滑りの恐れあり。大規模な造成、法面保護、地盤改良等が必要。
23	C/La Cañada	平坦地で面積、形状も施設建設上問題はない。
24	C/Los Conejos	敷地形状が不整形である。校舎等の余地は少ないが建設は可能。地質は余り良くない。
25	El Carbajal	敷地はほぼ平坦で敷地形状にも問題ないが、敷地内に高圧線が通っておりこの移設が必要。
26	C/Higueras	平坦地だが、盛土造成の土地であるので、既存法面処理が必要となる。
27	C/Tulima	アクセス路に川があるが雨期以外はほぼ良好。敷地はほぼ平坦であるが、一部傾斜している。
28	Cas/La Ceiba	サイトはほぼ平坦で面積も問題ないが、サイトの一部に簡易な造成、整地等が必要。
29	Cas/Los Guzmanes	なだらかな傾斜地だが面積が十分あるので、平坦な部分に配置をすれば、微造成ですむ。
30	C/Joya de Las Tunas	雨期の豪雨時に一時通行不能となる。CONARAIにより建設された2教室の校舎と便所がある。
31	Cas/Pueblo Viejo	十分な平坦地を確保するには造成工事のやり直し、新規の法面保護、造成等が必要となる。
32	Cas/Las Huertas	アクセス路に川あり、雨期に一時通行不能となるが乾燥はほぼ良好。広い平坦地である。
33	C/La Laguna	僻地で悪路だがアクセス可能。サイト内に段差はあるが、簡易な造成により建設は可能である。
34	C/Cerro Grande	比較的狭く軽微な造成が必要。水位が高く、地質は余り良くないと想定される。
35	C/San Marcos	PRODECAIによって95年3月に建設された2教室がある。アクセス路は、雨期の通行が不可。
(1)	Cas/Tehuacán	サイトは広く平坦地。CONARAIによって94年に建設された3教室校舎、便所、厨房がある。
(2)	Cas/El Porvenir	アクセス路は大変悪いが資材搬入は可能。サイトは平坦地で十分な広さがある。
(3)	C/El Puente	サイトは不整形で起伏があり岩が露出している。造成、法面保護、河川護岸、樹木伐採が必要。
(5)	C/Las Anonas	アクセスは悪路であるが資材搬入は可能。サイトは平坦地で十分な広さがある。
(6)	Cas/San Francisco de la Cruz	平坦で十分な面積をもっている。サイトの手前100mの大きな岩を撤去すれば資材搬入は可能。

サイト別調査結果(1)

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画(II)

サイト評価表 (1)

No.	サイト名	土地取得	登記面積	実測面積	他援助機関の計画	基本条件評価
1	Amapala	○	1,388.75	1,570.00	無	○
2	C/Charlaca	○	1,362.37	1,380.00	無	○
3	I.N. de Sesori	○	10,516.90	10,160.00	無	○
4	Cas/El Chirrión	○	625.00	770.00	無	○
5	C/El Quebracho	○	1,601.00	1,590.00	FIS (建設中)	×
6	Nahualapa	○	9,790.72	9,670.00	FIS (取付)	○
7	Lot/La Poza	△市・個人	3,362.50	2,400.00	無	△
8	C/El Cañal	○ISTA		2,930.00	無	○
9	Cas/Nueva Prusia	○ISTA		5,260.00	FIS (取付)	○
10	Hacienda La Poza	○	3,600.22	3,220.00	無	○
11	I.N. de Puerto El Triunfo	○	30,272.25	30,670.00	無	○
12	Cas/El Botoncillo	○ISTA		3,040.00	FIS (取付)	○
13	Cas/Las Flores	○	3,500.00	3,500.00	FIS (取付)	○
14	C/El Corozo	○	780.00	720.00	FIS (取付)	○
15	C/El Talpetate	○	782.50	782.50	FIS (取付)	○
16	Cas/EL Junquillal	○	930.00	930.00	無	○
17	Cas/La Capilla	○	1,117.00	1,110.00	FIS (取付)	○
18	Cas/Los Lazos	○	877.50	850.00	無	○
19	Volcancillo	○	2,147.32	2,260.00	無	○
20	Mazala	○	2,480.00	2,480.00	無	○
21	Col/San Francisco	○ISTA		6,840.00	無	○
22	Barrio El Guayabito	○	1,225.00	1,100.00	FIS (取付)	○
23	C/La Cañada	○	1,250.00	1,230.00	無	○
24	C/Los Conejos	○	1,368.38	1,460.00	無	○
25	El Carbajal	○	1,600.00	1,550.00	無	○
26	C/Higueras	○	1,291.47	1,400.00	FIS (取付)	○
27	C/Tulina	○	1,622.74	1,690.00	無	○
28	Cas/La Ceiba	○	900.00	900.00	無	○
29	Cas/Los Guzmanes	○	1,805.60	1,890.00	FIS (取付)	○
30	C/Joya de Las Tunas	▽個人	1,219.44	1,390.00	CONARA (2教室建設済)	△
31	Cas/Pueblo Viejo	○	1,140.00	1,250.00	無	○
32	Cas/Las Huertas	○	3,509.38	3,440.00	FIS (取付)	○
33	C/La Laguna	○	1,701.58	1,620.00	無	○
34	C/Cerro Grande	○	962.39	962.39	FIS (取付)	○
35	C/San Marcos	○	6,626.23	5,579.11	PRODECA (2教室建設済)	○
(1)	Cas/Tehuacán	○ISTA		1,630.00	CONARA (3教室建設済)	○
(2)	Cas/El Porvenir	○ISTA		8,910.00	FIS (取付)	○
(3)	C/El Puente	○	900.00	1,160.00	無	○
(5)	C/Las Anonas	○ISTA		2,310.00	FIS (取付)	○
(6)	Cas/San Francisco de la Cruz	○ISTA		5,140.00	無	○

○:取得済
△:予定済
▽:建設中
ISTA:ISTAの所有

取付済

○:取得済
△:取得済
×:建設中

サイト別調査結果 (2)

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画 (II)

サイト評価表 (2)

No	サイト名	敷地環境	敷地平面形状	敷地起伏	アクセス	評価
1	Amapala	○	○	△	△	○
2	C/Charlaca	○	○	△	×	×
3	I.N. de Sesori	○	○	○	△	○
4	Cas/El Chirrión	○	△	△	×	○
5	C/El Quebracho		○	△	○	×
6	Nahualapa	○	○	○	○	○
7	Lot/La Poza	○	○	○	○	△
8	C/El Cañal	○	○	△	○	○
9	Cas/Nueva Prusia	○	○	○	○	○
10	Hacienda La Poza	○	○	△	○	○
11	I.N. de Puerto El Triunfo	○	○	○	○	○
12	Cas/El Botoncillo	○	○	○	△	○
13	Cas/Las Flores	○	○	△	○	○
14	C/El Corozo	×	△	×	○	×
15	C/El Talpetate	○	△	○	○	○
16	Cas/EL Junquillal	○	△	○	○	○
17	Cas/La Capilla	○	○	△	△	○
18	Cas/Los Lazos	○	△	△	△	○
19	Volcancillo	△	○	△	△	○
20	Mazala	△	○	○	△	○
21	Col/San Francisco	○	○	○	○	○
22	Barrio El Guayabito	×	○	×	○	×
23	C/La Cañada	○	○	△	○	○
24	C/Los Conejos	○	○	○	○	○
25	El Carbajal	△	○	○	△	○
26	C/Higueras	○	○	○	△	○
27	C/Tulima	○	○	○	△	○
28	Cas/La Ceiba	○	○	○	○	○
29	Cas/Los Guzmanes	○	○	△	○	○
30	C/Joya de Las Tunas	○	○	○	△	△
31	Cas/Pueblo Viejo	△	△	△	○	○
32	Cas/Las Huertas	○	○	△	△	○
33	C/La Laguna	○	○	△	△	○
34	C/Cerro Grande	○	○	△	○	○
35	C/San Marcos	○	○	○	△	○
(1)	Cas/Tehuacán	○	○	○	○	○
(2)	Cas/El Porvenir	○	○	○	○	○
(3)	C/El Puente	×	△	△	○	×
(5)	C/Las Anonas	○	○	○	○	○
(6)	Cas/San Francisco de la Cruz	○	○	○	×	○

○: 問題なし
△: 問題あり
×: 重大な問題あり

○: 問題なし
△: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足

○: 学舎敷地不足
△: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足
×: 学舎敷地不足

○: 敷地OK
△: 敷地OK
×: 敷地OK
×: 敷地OK
×: 敷地OK
×: 敷地OK

○: 問題なし
△: 問題あり
×: 問題あり
×: 問題あり
×: 問題あり
×: 問題あり

サイト別調査結果 (3)

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画 (II)

サイト評価表 (3)

No	サイト名	1995年	1995年	1995年	1997年	1997年	1997年	1995年	1997年	97年必要	97年必要	校舎タイプ
		学年数	学級数	生徒数	予測学年数	予測学級数	予測生徒数	教員数	予測教員数	教員数	増員数	
1	Amapala	7	7	153	7	7	203	3	8	(4)	①	4-4-8
2	C/Charlaca	4	4	89	4	4	126	2	3	-	-	対象外
3	I.N. de Sesori	3	4	85	3	6	185	6	7	(7)	①	(1教室)
4	Cas/El Chirrión	3	3	91	3	3	95	3	6	(3)	-	3教室型
5	C/El Quebracho	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対象外
6	Nahualapa	3	3	57	5	5	195	1	2	(3)	②	3-3-6
7	Lot/La Poza	5	5	89	5	5	115	2	4	(3)	①	3-3-6
8	C/El Cañal	1	1	35	6	7	215	1	4	(4)	③	3-3-6L
9	Cas/Nueva Prusia	2	2	60	4	4	118	3	5	(3)	-	3-3-6
10	Hacienda La Poza	2	2	60	4	4	120	2	4	(2)	-	3-3-6
11	I.N. de Puerto El Triunfo	3	9	168	3	9	287	14	14	(14)	-	(5教室)
12	Cas/El Botoncillo	3	3	76	5	5	200	2	4	(3)	①	3-3-6
13	Cas/Las Flores	5	4	170	6	6	180	4	7	(4)	-	3-3-6
14	C/El Corozo	4	4	72	-	-	-	2	4	-	-	対象外
15	C/El Talpetate	6	14	381	6	24	635	12	14	(12)	-	3教室型
16	Cas/EL Junquillal	3	3	66	4	4	137	3	4	(3)	-	3-3-6L
17	Cas/La Capilla	4	5	131	4	10	325	2	4	(5)	③	3-3-6
18	Cas/Los Lazos	4	3	74	5	5	110	3	5	(3)	-	3-3-6
19	Volcancillo	5	3	100	7	7	190	2	5	(4)	②	3-3-6L
20	Mazala	6	6	145	8	8	204	3	6	(4)	①	4-4-8
21	Col/San Francisco	4	3	83	5	5	176	2	3	(3)	①	3-3-6
22	Barrio El Guayabito	3	3	72	6	6	195	3	6	-	-	対象外
23	C/La Cañada	5	3	103	6	6	162	3	5	(3)	-	3-3-6L
24	C/Los Conejos	4	4	83	4	8	200	3	9	(4)	①	3-3-6
25	El Carbajal	5	5	114	6	6	144	2	4	(3)	①	3-3-6
26	C/Higueras	6	8	134	6	8	238	3	6	(4)	①	4-4-8
27	C/Tulima	4	4	110	6	6	123	1	3	(3)	②	3-3-6
28	Cas/La Ceiba	2	2	40	3	3	99	1	3	(2)	①	3教室型
29	Cas/Los Guzmanes	2	2	98	3	4	150	2	4	(2)	-	3-3-6L
30	C/Joya de Las Tunas	5	4	116	6	6	200	2	5	(3)	①	3教室型
31	Cas/Pueblo Viejo	4	4	81	5	5	110	2	4	(3)	①	3-3-6L
32	Cas/Las Huertas	3	3	61	4	4	126	1	3	(2)	①	3-3-6L
33	C/La Laguna	4	3	126	5	10	245	3	5	(5)	②	3-3-6L
34	C/Cerro Grande	2	2	56	4	4	134	1	4	(2)	①	3-3-6
35	C/San Marcos	6	6	181	6	7	200	5	7	(5)	-	3教室型
(1)	Cas/Tehuacán	6	6	204	8	14	455	5	12	(7)	②	3教室型
(2)	Cas/El Porvenir	2	2	43	3	3	75	3	4	(3)	-	3教室型
(3)	C/El Puente	3	2	40	5	9	294	2	7	-	-	対象外
(5)	C/Las Anonas	3	2	75	3	3	85	1	4	(2)	①	3教室型
(6)	Cas/San Francisco de la Cruz 2	2	2	65	4	4	103	2	4	(2)	-	3-3-6
初等学校対象校合計			129	3464		210	6067	68	165	118	30	
中等学校対象校合計			13	253		15	472	20	21	21	1	

本表は各サイトの状況からのアンケート調査に基づく
1995年調査は現況調査、1997年調査は予測調査

1995年調査、既に4層型以上あり、かつ1997年に7学級以上となること
が想定された学校については4層型とし、1997年に3学級以下となる
学校については3層型、その他は3層型とする。但し現況既に
4層型以上の校舎がある場合は3層型とする。

サイト別調査結果 (4)

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画 (II)

サイト評価表(4)

No.	サイト名	計画対象	校舎タイプ	便所タイプ	管理棟 (厨房)	水道設備	電気設備
1	Amapala	○	4-4-8	浸透式	○	○	
2	C/Charlaca	×					
3	I.N. de Sesori	○	(1教室)				○
4	Cas/El Chirrión	○	3教室型	浸透式	○		
5	C/El Quebracho	×					
6	Nahualapa	○	3-3-6	浸透式	○		○
7	Lot/La Poza	△	3-3-6	浸透式	○		
8	C/El Cañal	○	3-3-6L	浸透式	○		○
9	Cas/Nueva Prusia	○	3-3-6	浸透式	○		
10	Hacienda La Poza	○	3-3-6	浸透式	○		○
11	I.N. de Puerto El Triunfo	○	(5教室)	水洗式		○	○
12	Cas/El Botoncillo	○	3-3-6	浸透式(2浸透樹)	○		○
13	Cas/Las Flores	○	3-3-6	浸透式(2浸透樹)	○		
14	C/El Corozo	×					
15	C/El Talpetate	○	3教室型	浸透式	○		○
16	Cas/EL Junquillal	○	3-3-6L	浸透式	○	○	
17	Cas/La Capilla	○	3-3-6	浸透式	○		
18	Cas/Los Lazos	○	3-3-6	浸透式	○		
19	Volcancillo	○	3-3-6L	浸透式	○		
20	Mazala	○	4-4-8	浸透式	○	○	○
21	Col/San Francisco	○	3-3-6	浸透式	○		○
22	Barrio El Guayabito	×					
23	C/La Cañada	○	3-3-6L	浸透式	○		
24	C/Los Conejos	○	3-3-6	浸透式	○		○
25	El Carbajal	○	3-3-6	浸透式	○		○
26	C/Higueras	○	4-4-8	浸透式	○	○	
27	C/Tulima	○	3-3-6	浸透式	○		
28	Cas/La Ceiba	○	3教室型	浸透式	○		○
29	Cas/Los Guzmanes	○	3-3-6L	浸透式	○		○
30	C/Joya de Las Tunas	△	3教室型		○		○
31	Cas/Pueblo Viejo	○	3-3-6L	浸透式	○		○
32	Cas/Las Huertas	○	3-3-6L	浸透式	○		
33	C/La Laguna	○	3-3-6L	浸透式	○	○	
34	C/Cerro Grande	○	3-3-6	浸透式(2浸透樹)	○	○	○
35	C/San Marcos	○	3教室型	浸透式	○		○
(1)	Cas/Tehuacán	○	3教室型				○
(2)	Cas/El Porvenir	○	3教室型	浸透式(2浸透樹)	○	○	
(3)	C/El Puente	×					
(5)	C/Las Anonas	○	3教室型	浸透式(2浸透樹)	○	○	
(6)	Cas/San Francisco de la Cruz	○	3-3-6	浸透式	○		

○:対象校
△:対象校(土地取得手続中)
×:計画対象外

サイト別調査結果(5)

エル・サルヴァドル共和国
初等・中等学校建設計画(II)